

◆八千代市第5次基本構想(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
1	1章 将来都市像	第5次(素案)のキャッチフレーズ「人がつながり 未来につなぐ 笑顔があふれるまち やちよ」2020年4月28日に更新された八千代市第4次総合計画基本計画(令和2年度版)(以下、第4次と言う)のキャッチフレーズ「ここに住みたい、住み続けたいまち やちよ」と「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市八千代」とあるが、第5次(素案)のキャッチフレーズ「人がつながり 未来につなぐ 笑顔があふれるまち やちよ」を決めた経緯(作成者の判断、市職員の総意、市民へのアンケートの結果とか)があれば、記載して頂きたい。 又、日本全体が人口減少問題に直面しており、市町村間で人口減少問題の改善等に取組んでおり、キャッチフレーズとしては「ここに住みたい、住み続けたいまち やちよ」が総論としてはベターではないか。	将来都市像の設定に当たりましては、市民意識調査やワークショップ、ワールドカフェ等での市民の方々からの声を参考として、庁内組織である総合計画等策定会議で協議を行い、基本構想の素案を作成し、部長会議での協議を経て決定されました。 なお、実施しました市民意識調査やワークショップ、ワールドカフェ等の内容につきましては、市ホームページにて掲載しております。	
2	1章 将来都市像	第1章 都市将来像 1P 上から4行目 やすらぎに満ちたまちづくり・やすらぎの意味がよくわからない	第4次総合計画の将来都市像を「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市 八千代」とし、本市の快適さと自然の豊かさを兼ね備えた都市としての特性と基本理念に基づき、心のやすらぎを感じることのできるゆとりのあるまちの実現に取り組んでおりますが、第5次基本構想では「人がつながり 未来につなぐ 緑豊かな 笑顔あふれるまち やちよ」と整理いたしました。	
3	1章 将来都市像	従来の「人がつながり未来につなぐ緑豊かな笑顔あふれるまち やちよ」ではなく、キーワードとして「持続可能な開発目標SDGsの取組み」と「ゼロカーボンシティを目指す」を使ってもらいたい。	将来都市像につきましては、変更する予定はございません。 なお、ご意見にある地球環境に関連する記載内容につきましては、基本構想の記載内容として「第4節 快適で環境にやさしいまちづくり」の「環境との共生・保全」で、地球環境に係る「気候危機」の記載を追加します。	
4	1章 将来都市像	誕生間もない八千代市に在住して30年余り、多くの困境世代仲間と共に八千代の将来に期待を寄せています。 【将来都市像】 八千代も郊外型都市(ベッドタウン)として発展、それが今や少子高齢化の真っ只中です。ポストベッドタウン化・少子高齢化対策が、コンパクトなだけにより急務です。環境の世紀といわれる21世紀、昨今の世代間交流の希薄化解消を目指す八千代市創りを願います。周りの自治体よりユニーク・差別化したわがコミュニティーやちよ。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
5	1章 将来都市像	<将来都市像変更案> 「未来の笑顔が描ける ロゼシティ やちよ」 是非記述してほしいこと ・従来の方針 ・市と市民の役割と関係 ・外部環境の変化 ・外部環境の変化に対応する持続可能な試み ・周辺の都市から羨ましいと感じるまちの魅力 代案1:未来の笑顔が描ける バラのまち やちよ 代案2:人がつながり 未来につなぐ 笑顔あふれる ロゼシティ やちよ	将来都市像につきましては、変更する予定はございません。 なお、ご意見にあるバラに関連する記載内容につきましては、基本構想の記載内容として「構想の推進のために」の第3節「多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」において、本文中の「また、本市の恵まれた自然や歴史、特産品、イベント」の次に「のほか、市のシンボルであるツツジやバラ、市民参加によって形作られた新川千本桜といった」を追加します。	
6	1章 将来都市像	第1章「将来都市像」 「人がつながり」は、市内のつながりだけではなく、市と関連するより広域の地域間のつながりや、市外や県外そして海外とのつながりも含む必要があると思います。その意味では、「人々がつながり」あるいは「多様な人のつながり」などのより具体的な表現が望ましい。 「未来につなぐ」は、次世代に向けて持続可能な社会を構築することを意味しており、これまでの現状を単に継承するだけでは実現できない。より積極的に未来につなぐため、「未来を創る」や「未来を創造する」というより積極的な表現が望ましい。 「緑豊かな」の説明がないが、現在の自然環境を維持するだけではなく、様々な環境問題を積極的に解決して真に「緑(自然)豊かな」地域を行政や市民が主体的に構築する必要がある。 「笑顔があふれるまち」は、安心して明るく暮らせるまちの姿を表面的に表すだけではなく、喜び、希望や活気があふれるまちづくりを目指すというビジョンを示す必要がある。「幸福」という基本理念を含めると良いと考える。	「人がつながり」では人と人だけではなく、行政や地域の様々な団体などとの多様なつながりを表現しており、「未来につなぐ」では持続するまちの姿を表しています。また、「緑豊かな」では前段の説明部分に記載している都市と自然のバランスに優れたまちとしての特性を、「笑顔あふれるまち」では、ご指摘の喜びや希望、活気を包含するイメージとして表現しています。 ご指摘の「緑豊かな」の説明につきましては、以下の記載を追加します。 『「緑豊かな」とは、市民共通の誇りであり宝である本市の豊かな自然環境に恵まれたまちの姿を表しています。』	○
7	1章 将来都市像	昔の野山を開発し、中央に、新しいタイプの住宅地がひろがって、新旧両住民の感情には、まだまだ隔たりがみられるように思います。新旧住民のひと頑張りが必要に思います。「わが街 八千代 われらのふるさと 新旧両民 心を合わせ 力強い地域をつくる」という言葉が、口からほとぼり出ました。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
8	1章 将来都市像	将来都市像に表現された「緑豊かな」の説明がありません。説明を加えてください。	「緑豊かな」は、将来都市像の前段の説明部分に記載している都市と自然のバランスに優れたまちの特性を表現しています。 ご指摘の「緑豊かな」の説明につきましては、以下の記載を追加します。 『「緑豊かな」とは、市民共通の誇りであり宝である本市の豊かな自然環境に恵まれたまちの姿を表しています。』	○
9	1章 将来都市像	将来都市像は市民の想いを表現するものと思います。是非八千代らしさを対外的にアピールするキーワードを入れてもらえないでしょうか。例えば、八千代花と緑の応援団が目標とされている“バラ街道”は大変素晴らしい取り組みかと思えます。八千代市にたくさんバラ街道を作り、行政・民間も一眼となったバラの街をアピールしてほしいと思います。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	

◆八千代市第5次基本構想(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
10	1章 将来都市像	第1章 将来都市像 ① 本市の目指すべきまちの姿とは、本市ならではの 都市と自然の優れたバランス」、活発な市民活動、市民協働の取組み」、新川、バラ、千本桜などの緑豊かな自然の地域資源」、「自然を活かした体験型教育」などの強みや特性を有効に活用し、八千代ならではの「キラリと光る」ものに磨き上げ、市民の誰もが未来への希望を感じ、生涯にわたり誇りや愛着をもって、このまちに住んでいたいと思える 未来へつづくふるさと八千代」なのではないでしょうか。そういったまちづくりを進めることで、現在の大きな課題でもある定住率の低い若年世代の流出を抑え、仮に一時的に市外に出てもまたライフサイクルに合わせて市内に戻ってくるような ふるさと八千代」を目指すことで、人口減少や超高齢化に向合うことができるのではないのでしょうか。 本市「八千代市」の命名の由来でもある「千代に八千代に」に込められた想いにもある、千年も幾千年も 未来へつづく八千代」につながるような将来都市像として頂けるように要望します。 私から一案として以下を提案致します。ご検討下さい。 『“そここ都会でそここ田舎”キラリと光る未来へつづくふるさと八千代』	将来都市像につきましては、変更する予定はございません。 なお、ご意見にあるバラ・千本桜に関連する記載内容につきましては、基本構想の記載内容として「構想の推進のために」の第3節「多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」において、本文中の「また、本市の恵まれた自然や歴史、特産品、イベント」の次に「のほか、市のシンボルであるツツジやバラ、市民参加によって形作られた新川千本桜といった」を追加します。	
11	1章 将来都市像	将来都市像について 持続可能を意識した、全ての市民、とりわけ子どもや教育を連想させる良いものだと思います。しかし、解説や理念は当たり障りのない、熱意があまり伝わらないものと感じました。それは言い換えれば、地味だけれども、それぞれの部署が柔軟な発想で試行錯誤できればよいものになるのかもしれないとも思いました。		
12	1章 将来都市像	キャッチフレーズの「人がつながり 未来につなぐ～」に記載されている内容は住民に期待する他力本願に響く、約50年前の昭和の時代に作られた松戸市の「すぐやる課」を模範とする課を作り、住民に安心・安全な生活環境を提供するとか行政側の考え方があれば記載して頂きたい。	基本構想では、将来都市像を実現するために5つの柱を掲げております。 なお、基本構想はまちづくりの大きな方向性を示すものであり、具体的な取組については基本計画の施策体系の中で整理し、住民ニーズや時代の変化、課題に柔軟性を持って取り組んでまいります。	
13	1章 将来都市像	キャッチフレーズの「～笑顔あふれるまち やちよ」に記載されている内容を実現手段として考えていることがあれば記載して頂きたい。		
14	1章 将来都市像	基本構想の位置づけ 自治法2条4項が2011年5月2日に削除されました。条例等で位置づけを定義すべきですが八千代市では単に議決事件とする条例を定めただけで、これは形式的な計画との印象を与えかねません。是非総合計画並びに基本構想の位置づけを条例等で明確にしてください。	地方自治法の改正により基本構想の策定は義務ではなくなりましたが、市の最上位計画である総合計画は、計画的な行政運営を図るための指針であり、長期的な展望を示すものであることから、法的な義務がなくとも策定し、市民の代表である議会の議決を経ることが必要かつ重要であると考え、議決案件とすることを条例で規定しています。	
15	2章 基本理念	基本理念 2P 上から8行目 市民やコミュニティの自主的活動を促進し、…主語がだれか不明	市民や団体、事業者、行政といった多様な主体が、地域を中心としたより積極的なコミュニティ活動を促進し、互いが連携して地域課題の解決に取り組むことで、パートナーとして共に支え合うまちづくりの実現に取り組んでいきます。	
16	2章 基本理念	【基本理念】 豊かな自然・心を癒す緑は人の交流を生じる。残念ながら自然環境・緑の整備が余り進んでいない、この整備を進めてパークシティ(公園都市)やちよ…これはシンボリックの意味で単に緑や・自然環境に限定されない	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
17	2章 基本理念	第2章 基本理念 「市民憲章の精神のもと」とありますが、基本理念は「市民憲章(のさらなる推進)」なのではないでしょうか。	市民憲章は、自分たちの住むまちに対する市民の願いや考え、誓いを示したものです。八千代市民憲章は平成10年に制定されましたが、将来にわたるまちづくりを推進するための都市の理想や市民のみちしるべとなっており、総合計画の精神的なよりどころとしております。	
18	2章 基本理念	第2章「基本理念」 「誇りと愛着」は、より個人的な意識であり、八千代市の基本理念としては、不明確である。次世代にわたり基本的な生活や環境が維持されるために主体的に取り組む必要があることとして、「持続可能なまちづくり」などを基本理念にすべきである。 「共生と自立」もあいまいな基本理念である。市民やコミュニティ、行政がパートナーとして主体的に「協働」することが重要であり、地域の資源や課題を共有してその活用や解決に取り組む必要がある。 「安心と安全」では、現世代や自分自身の安心と安全という狭い理念ではなく、より広く様々な主体が協調・協力することで、強靱(レジリエント)で持続可能(サステイナブル)な地域をつくる必要がある。	いただいたご意見は、基本構想の記載内容として参考とさせていただきます。 「安心と安全」で、「快適で安全な生活が送れる」の次に「持続可能な」を追加いたします。	○
19	2章 基本理念	第2章 基本理念 ① 将来都市像を踏まえ、その実現へ向けた「基本理念」について、現素案では3点「誇りと愛着」「共生と自立」「安心と安全」が挙げられていますが、これからのメインテーマでもある「持続可能性」「未来へつづく八千代」を踏まえて、もう1点「継続と持続」を加えることを提案します。 「継続と持続」本市のこれまでの強みや特性を継続し、より有効に活用し持続可能なものとする事で、市民の誰もが未来への希望を感じ、住み続けたいと思えるまちづくりを推進します。	「継続や持続」についても重要であり、将来都市像である“未来へつなぐ”において、「継続や持続」の持つ意味を包含していることから、現行案のとおりいたします。	
20	3章 5つの柱	基本構想の第3章第2節にある文化についての提言 基本構想の文化に関して深く賛同します。ぜひ八千代市が文化活動が積極的な市として成長していくことを願います。 具体的に、文化活動を支える予算の確保のために1%for Art(パーセント・フォー・アート)の導入を提言します。公共事業建設費の1%をアートに回そうという制度です。1950年代のフランスで提唱され実際に導入されて、以降ヨーロッパ諸国1980年代には韓国でそして現在は台湾でも導入されている文化のための財源確保の制度です。公共事業の建設費の1%(厳密には0.5%～2%の平均値として)を充てることで財源を確保することは、ただの予算確保だけではなく、アートを導入して市の資産価値を30%あげられる、という側面があることが言われています。具体的な運用は永続作品、一時的作品の制作等に充てるのみならず文化財産の管理運用にまで応用されています。八千代市で導入することは全国的にも注目される取り組みとなります。ご検討ください。	文化は心を豊かにし、人間らしく生きるために重要なものと認識しております。いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 なお、基本構想はまちづくりの大きな方向性を示すものであり、具体的な取組については基本計画の施策体系の中で整理し、住民ニーズや時代の変化、課題に柔軟性を持って取り組んでまいります。 文化活動については、「豊かな心と文化を育むまちづくり」で施策の大綱「文化」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。 また、本市が有する豊かな自然や文化といった地域資源を活用しながら、多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信に取り組むとともに、行政全体の最適化や業務の生産性や効率性の向上を図り、持続可能な行政運営を推進してまいります。	

◆八千代市第5次基本構想(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
21	3章 5つの柱	【将来都市像の実現に向けた5つの柱】 5つの柱に加えてこれを縦軸として、横断的な以下の視点が追加される必要があると思う ①地区別分析・都市部・農村部 ②エリア別分析・商工部・イベント部 更に、時間軸として ③集中or分散・網羅or選択 ④自然・社会環境変化の考慮 施策のポイントをあぶりだす為、上記の視点が不可欠	土地利用の基本的方針では、自然と都市の均衡を図りながら、総合的かつ計画的に行うこととしております。加えて、ゾーニング計画や地域別計画については、この基本的方針を踏まえ、基本計画の中で整理してまいります。 また、総合計画策定後に個別計画である都市マスタープランの改訂が予定されていることから、快適性と自然が調和したまちづくりを目指します。	
22	3章 5つの柱	第3章「5つの柱」のうち第4節「快適で環境にやさしいまちづくり」 「都市環境」や「都市機能」という概念があいまいで、様々なインフラを含む地域の環境を構築して維持する具体的な記述が必要である。ここでは「持続可能なまちづくり」として、長期的な気候変動問題への積極的な対応と地球温暖化への適応を含めるべきである。この気候変動問題への対応としては、長期的なビジョンとして「ゼロカーボンシティ宣言」や「気候非常事態宣言」などを含むことが望ましい。エネルギーを地域で主体的に扱うことも重要であり、単なる「環境負荷の低減」ではなく、より具体的な「脱炭素化」や自然エネルギー(再生可能エネルギー)100%というビジョンをもち、具体的な取り組みを市民・事業者・行政が行う必要がある。循環型社会の形成においても、従来の3Rの取り組みだけではなく、エネルギーとしての利活用やゼロエミッションに向けた取り組みを含める必要がある。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 なお、基本構想はまちづくりの大まかな方向性を示すものであり、具体的な取組については基本計画の施策体系の中で整理し、住民ニーズや時代の変化、課題に柔軟性を持って取り組んでまいります。	
23	3章 5つの柱	第4次基本構想では将来都市像実現のために6つの柱を設定しました。なぜ6つから5つになったのでしょうか。削除された「快適生活」に相当する部分は曖昧になっておりますのでは柱を追加すべきと思います。	現行計画の柱で「環境共生都市」と「快適生活都市」は関連性も深く、一体となった取組により計画全体の実効性を高められることから、2つの柱を統合して「快適で環境にやさしいまちづくり」といたしました。	
24	4章 施策の大綱	「ゼロカーボンシティ」「RE100」実現に向けた施策は、省エネルギー・再生可能エネルギーの推進はもとより、調達電力のRE100電気やCO2ゼロ電気への切替えや、電力切替をさらに促進する「自治体新電力」設立など、既に先進自治体で行われているものでもあり、これらは気候危機への対策のみならず、地産地消のエネルギー循環を生み出すことによる地域経済循環を作り出し、人口減少・少子超高齢化が進む未来に向けての地域活性化、まちづくりの切り札に間違いなく考えます。 本市でも市外に流出しているエネルギー支出は600億円以上あり、自治体新電力を軸に市内循環させることで地域活性化の効果は計り知れません。また、もちろん太陽光発電などの活用によって災害時非常電源の確保につながり「災害に強いまちづくり」にも間違いなくつながります。ゼロカーボンシティ RE100実現に向けた気候変動・エネルギー政策は、環境政策であると同時に、経済・産業政策でもあり、防災・災害対策にもなり、また後述するSDGsの実現にもつながると考える。未来につづきふるさと八千代実現に向けたビジョン・施策の柱として横断的に掲げることを提案します。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 なお、基本構想はまちづくりの大まかな方向性を示すものであり、具体的な取組については基本計画の施策体系の中で整理し、住民ニーズや時代の変化、課題に柔軟性を持って取り組んでまいります。	
25	4章 施策の大綱	「コロナ危機」を受け、ウィズコロナ・ポストコロナとして社会変革が進みつつあります。デジタル技術を活用したテレワークやリモート会議、サテライトオフィス化などが進められつつあり、オフィスを持たない企業なども現れ、企業そのもののあり方が変わるような働き方改革が進みつつあります。この社会変革の動きは間違いなく、公共サービスや公共交通のあり方にも大きく変革をもたらすと考えられます。ウィズコロナ、ポストコロナを踏まえ、デジタルトランスフォーメーションを見すえた新しい働き方や、公共サービス、公共交通を目指すビジョンを掲げることを提案します。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 公共交通については「快適で環境にやさしいまちづくり」で施策の大綱「総合交通・道路環境の整備」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。 公共サービスについては「構想推進のために」の第4節「持続可能な行政運営」で、「情報のデジタル化の推進」や「行政が保有する資産の有効活用と市民サービス向上」について示しています。 新型コロナウイルスへの対応については、今後のワクチンや治療薬の開発、感染の拡大状況などで、取組が大きく変わってしまう可能性があることから、基本構想では具体的な内容を記載しておりませんが、基本計画で位置付けするとともに、引き続き対応を進めてまいります。 「構想推進のために」で、次の記載を追加します。「また、令和2(2020)年に、世界中に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は市民生活や企業活動に大きな影響を及ぼし、新たな生活様式が提示されるなど、これまでとは異なる社会の価値観に立った取り組みが必要とされています。このため、既存の考え方にとらわれず、感染症対策を始めとした様々な状況の変化に対応したまちづくりを進めていきます。」	○
26	4章 施策の大綱	【施策の大綱】 従来の枠組みを超えた発想で将来への方向性を考えたまちづくりの施策であってほしい。例えば ①少子化・高齢化社会のまちづくり ②人間・自然環境にやさしいまちづくり ③コンパクトで快適なまちづくり ④情報発信のできるまちづくり ⑤セールスポイントのあるまちづくり 又、別格で着想すべき点は、 ④複数の大規模団地のポストまちづくり ⑥文化・イベント重視のまちづくり	基本構想で具体的な施策内容を位置付けることにより、住民ニーズや時代の変化に対して柔軟な対応が困難となることから、基本的な方針や考え方のみを示し、基本計画の策定過程において具体的な施策の体系を整理し、横断的な取組となる重点施策を含めて検討してまいります。	

◆八千代市第5次基本構想(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
27	4章 施策の大綱 1節	1節について ①各節に要望する事だが、4次の目標指標の未達成課題の総括と今後の対応を明確にする。 ②ひとり親、身障者、低所得者、高齢者など社会的弱者にたいして、耳を傾け支援する。 ③保育園、学童保育不足を明示し、支援が各家庭の要望に応えられる対応を目指す。 ④地域社会の福祉を地域の支え合いに頼るのではなく、行政が主になり地域福祉を改善して頂きたい。 ⑤保険制度を単に現状を守るだけではなく、財政の工夫で、他市より有利な制度を目指してもらいたい。 ⑥感染症対策での情報発信が少なく、市民支援の対応も他市と比較し優位性をかんじない。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 ・①第4次総合計画後期基本計画の達成状況について調査を実施し、現状や課題の分析、今後の方針を整理してまいります。なお、基本構想はまちづくりの大きな方向性を示すものであり、具体的な取組については基本計画の施策体系の中で整理し、住民ニーズや時代の変化、課題に柔軟性を持って取り組んでまいります。 ・②ひとり親、障者者、生活困窮者、高齢者については、「ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり」で施策の大綱「子ども・子育て」や「地域福祉」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。 ・③保育園、学童保育については、「ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり」で施策の大綱「子ども・子育て」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。 ・④地域社会の福祉については、「ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり」で施策の大綱「地域福祉」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。 ・⑤保険制度については、「ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり」で施策の大綱「社会保険」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。 ・⑥感染症対策については、「ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり」で施策の大綱「保健」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。	
28	4章 施策の大綱 1節	「コロナ危機」に直面し、市民の命・健康・安全安心を守るために「保健行政の重要性」が再確認された。感染症に対する相談受付、検査業務、医療・検査機関への振分、自宅待機・療養・入院などの振分、疫学調査並びに感染者情報の把握・情報公開・情報発信などいずれも市民生活に直結します。本市のような一般市において保健行政は県の所管となるが、人口20万以上の中核市となれば、自前で保健所を設置し業務を遂行することができます。本市も人口20万人を越え中核市要件を満たした中で「未来を見据えた保健行政のあり方」中核市指定への考え方を検討していくことも必要と考えます。	中核市の条件である法定人口が20万人を一時的に超えても、近い将来に人口減少に転じることが見込まれております。また、要件は満たしても、中核市の指定を受けていない自治体は全国でも多く存在し、千葉県内では松戸市や市原市などがあることから、権限移譲を受けた事業の継続性・効率性など、慎重な検討が必要であると考えます。 感染症対策については、「ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり」で施策の大綱「保健」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。	
29	4章 施策の大綱 2節	2節に関して ①教育は人に迷惑をかけない事を学ぶ。有限の資源を未来に残す。他の人を支援し役立つ知識・行動を学ぶ。社会のルールを身につける。個性を見つけ伸ばす。教育の目的を明確にする。 「教育を通じた街づくり」の意味が分からない。 ②文化、文化財は国際的のものを見る、知る、評価する教育を中心にする。 ③男女共同参画社会を削除するな：女性参加を強力に進める。 議員、委員会等の市民代表を選出に女性枠を設ける。 ④スマホ、PCを利用した教育、情報伝達を考慮した環境の整備と低所得者への支援。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 ・①教育については、「豊かな心と文化を育むまちづくり」で施策の大綱「教育」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。 ・②文化・文化財については、「豊かな心と文化を育むまちづくり」で施策の大綱「文化」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。 ・③男女共同参画については、施策横断的な取組が必要なことから「構想の推進のために」の第3節「多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。 ・④スマホ・PCを使った教育については、「豊かな心と文化を育むまちづくり」で施策の大綱「教育」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。	
30	4章 施策の大綱 2節	第2節で教育のことについて触れておりますが、学力レベルの向上も重要な課題と思います。八千代市の学力レベルは「令和元年度」の全国学力テストの結果を見るとほぼ平均のようです。学力レベルを上げることが全てではありませんが、私立の学校への進学を余儀なくされている家庭も多く知っておりますので、市内の学力レベル向上も他市への転出を抑制する上で、重要な課題であると考えますかいかかでしょうか。教育レベルの向上についてもご検討ください。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 教育については、「豊かな心と文化を育むまちづくり」で施策の大綱「教育」に位置付け、教育環境の整備や教育内容の充実を図り、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。 環境教育については、「快適で環境にやさしいまちづくり」で施策の大綱「環境との共生・保全」に位置付け、地球温暖化や生物多様性に関する学習機会の充実を図るとともに、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。	
31	4章 施策の大綱 2節	「コロナ危機」を受けて、GIGAスクール構想をはじめICTやオンライン教育環境を活用してより本来の学び 自ら考える力、主体的・対話的深い学び」に繋げる新しい教育への変革が進みつつあります。これら社会変革を見据えたビジョン・柱を掲げ、本市の掲げる教育目標「未来を拓き豊かに生きる人間を育む」取組みを更に進める八千代ならではの教育施策に繋げていくことを提案します。		
32	4章 施策の大綱 2節	「豊かな心と文化を育むまちづくり」として「教育」について施策が掲げられていますが、本市では教育目標「未来を拓き豊かに生きる人間を育む」のもと、重点目標として「ESD(SDGsの担い手を育てる教育)の推進」を掲げ、教育を核とした持続可能な地域社会を構築するとして、ユネスコスクール推進校指定を進めるなど素晴らしい教育を進めていると認識しています。またそれらにつながる施策として、八千代ならではの自然環境を活用した「少年自然の家」での体験型教育を通じて「自ら考える力、仲間と協力する力」を育て教育目標実現に繋げています。これら素晴らしい「教育」を継続しながら、学校の屋上を活用した太陽光発電を軸とした「エコスクールプラス」等の新たな施策を進めることを提案します。この施策は「環境教育」であると同時に、「環境政策」「公共施設マネジメント」「新たな歳入確保」「避難所の災害時電源として防災能力向上」にも繋がります。		
33	4章 施策の大綱 3節	3節に関して ①「広報やちよ」「やちよご意見箱」の改善。生活環境状況を他市との比較で公表し、改善策を提案・実施し、同時に市民の声を聞く。又、「やちよご意見箱」の意見を適時、層別検討し、行政がどの様に対応したのか公表する。 ②避難所の整備計画を検討する事。 ③上下水道局が別館利用しない理由不明	・①広報やちよ、やちよご意見箱については、「構想の推進のために」の第1節「市民にわかりやすいまちづくりの推進」に位置付け、基本計画により取組を推進いたします。 ・②避難所については、「安心・安全に暮らせるまちづくり」で施策の大綱「暮らしの安全」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。 ・③第2別館を改修した上で上下水道局庁舎として活用する方針を決定しています。	

◆八千代市第5次基本構想(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
34	4章 施策の大綱 3節	第3節「安心・安全に暮らせるまちづくり」 【提案】勝田台駅北口駅前広場の無電柱化事業 勝田台駅は、京成と東葉高速鉄道の2路線が交差する利便性により一日の乗降者数が8万人を超え、また市内に6カ所ある防火地域の東の拠点として、防災機能の確保と向上を図る必要があると考えます。 千葉県では、当該地区の安全かつ円滑な交通の確保、都市景観や都市防災性の向上を図るため、令和2年より勝田台駅北口の国道296号において、既に電柱の地中化事業が始まっています。この国道整備に合わせ、駅前広場の電柱を地下化することで、エリア全体の防災機能がより強固になります。 是非、八千代市第5次基本構想に「勝田台駅北口駅前広場の無電柱化事業」を盛り込んでいただきたく、ご検討のほど何卒よろしくご意見申し上げます。	道路上にある電線類を地下に収容する無電柱化の促進により、都市防災機能の強化や安全で快適な歩行空間の確保などの効果が期待できると認識しております。いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
35	4章 施策の大綱 3節	第3節 安心・安全に暮らせるまちづくり 2. 暮らしの安全 「自助」、「共助」については書かれていますが、行政がしっかりとやらなくてはいけない「公助」の言葉がありません。「公助」と明記し、行政として何をやっていくのかを表記する必要があると考えます。	ご指摘の部分につきましては、「第3節 安心安全に暮らせるまちづくり」の「暮らしの安全」で、市民・地域・行政の取組と相互の連携によりまちの強靱化を図っていく旨の記載に修正します。	○
36	4章 施策の大綱 3節	3. 上下水道 項目として「3. インフラ」としてその中で上下水道、道路、橋等も記述すべきかと思えます。昨年の台風の経験からすると今後は電源の確保も重要となってきます。サバイバル電源の確保をどうしていくのか、その点についても記述すべきかと思えます。	基本構想はまちづくりの大まかな方向性を示すものであり、具体的な取組については基本計画の施策体系の中で整理し、住民ニーズや時代の変化、課題に柔軟性を持って取り組んでまいります。 道路橋梁については、「快適で環境にやさしいまちづくり」で施策の大綱「総合交通・道路環境の整備」に位置付け、防災については「安心・安全に暮らせるまちづくり」で施策の大綱「暮らしの安全」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。	
37	4章 施策の大綱 4節	4)4節に関して ①第4次の3節を省略した理由は？ ②自動車の無い人の移動手段の工夫 ③国道296の改善対応 ④ソーラーシェアリングによる、農業の再構築。	・①現行計画の柱で「環境共生都市」と「快適生活都市」は関連性も深く、一体となった取組により計画全体の実効性を高められることから、2つの柱を統合して「快適で環境にやさしいまちづくり」といたしました。 ・②③「快適で環境にやさしいまちづくり」で施策の大綱「総合交通・道路環境の整備」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。 ・④いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
38	4章 施策の大綱 4節	「快適で環境にやさしいまちづくり」の中で「環境負荷の低減が求められている」とありますが、「気候危機」に直面する世界では、更なる温暖化による危機を招かないために、2030年にはCO2を半減、2050年には実質ゼロを目指す必要があるとされています。日本政府においてもこの目標実現を目指して、環境省では2050年までにCO2排出量を実質ゼロとすることを表明する地方公共団体を「ゼロカーボンシティ」として推進し、既に150以上の団体が認定されています。本市においても、ゼロカーボンシティを表明し、合わせてその実現に向けたRE100(再生可能エネルギー100%)やちよをビジョンとして掲げ、施策として推進することを提案します。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 ご指摘の部分につきましては、「第4節 快適で環境にやさしいまちづくり」の「環境との共生・保全」で、地球環境に係る「気候危機」の記載を追加します。	○
39	4章 施策の大綱 5節	農業について 持続可能な視点と、健康、安心、安全の視点からも、無農薬有機栽培農家を応援してほしい。子どもたちの給食に月に一度でも取り入れてほしい。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
40	4章 施策の大綱 5節	P8 3労働環境の下から2行目ですが、「高齢者、女性、外国人などの多様な人材」とありますが、就業機会の拡充で大切なのはその人達だけではなく、社会問題化した「61万人のニート」と呼ばれる人々や、就職氷河期世代、現在コロナ禍で雇止めに近い、失業している人々など失業した中高年も是非この文言に加えていただきたいです。 失業した中高年層や就職氷河期世代の取り込みをいかにしていくかが今後の少子化による人口減の歯止めのひとつかと思えます。 働き盛りの中高年失業者をまづいかに活用するかが今後の八千代市の産業の振興に大きく寄与するでしょう。	ご指摘の部分につきましては、「高齢者、女性、外国人などの多様な人材」に含有した表現となっており、労働環境が改善されることで、多様な人材が地域でより多く活躍できるまちづくりを目指します。	
41	5章 構想の推進 のために	第4次総合計画では、市民主体による自立的な行政経営基本方針と定めていたが、10年間でこの基本方針により、何が実現したのか理解が出来ない。「広報やっち」「やっちご意見箱」「市民説明会」「市民ホーム」各種審議会、委員会」「パブコメ」これ等の運営内容も変わらないし、変えようと言う兆しも見えない。	基本計画における施策の目的、目標の達成度を測る評価基準として設定した指標の進捗について調査を実施したところ、第4次総合計画後期基本計画期間の途中段階で133指標のうち30指標が目標達成、56指標が向上している状況です。指標の達成状況に加え、現状の課題分析、今後の方針を踏まえて第5次総合計画の策定を進めてまいります。 「構想推進のために」の第1節「市民にわかりやすいまちづくりの推進」の中で行政の説明責任を果たしていくこと、政策形成過程への参加機会を充実させていく旨を記載しており、今後の策定過程で必要な情報をお示ししながら計画策定に取り組んでまいります。	
42	5章 構想の推進 のために	多様性を認め合うについて 学校だけの問題ではなく、私も含めすべての大人の意識ですが、子どもに対する同調圧力の強さをどうにかしないといけないと思います。	「構想の推進のために」の第3節「多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」の中で、共に支え合いながら個性と能力が十分に発揮でき、多様性を認め合える包摂性のある社会の実現を目指してまいります。	
43	5章 構想の推進 のために	【構想の推進のために】 基本構想に魂を入れ、推進するためには ①今までの基本構想の検証・評価で進捗確認 ②地域情報のNW化・積極的な情報崩壊 ③市民NW・NPO法人の活性化する ④ばらまきではなく、大胆な発想による選択と集中でやちよイメージのアップを念頭に	基本構想で具体的な施策内容を位置付けることにより、住民ニーズや時代の変化に対して柔軟な対応が困難となることから、基本的な方針や考え方のみを示し、基本計画の策定過程において具体的な施策の体系を整理し、横断的な取組となる重点施策を含めて検討してまいります。	

◆八千代市第5次基本構想(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
44	5章 構想の推進 のために	第5章「構想の推進のために」に掲げられている全5節を推進していくにあたり、八千代市の将来都市像「人がつながり未来につながる 緑豊かな 笑顔のあふれるまち やちよ」というスローガンを、八千代市民が身近に感じられるような、場所にどんどん掲示していくのがいいと思います。実際、八千代市民が八千代市について興味関心を持ち、八千代市が何をやっているのかわかってもらうことが先だと思います。	まちづくりは市民と地域、行政がともに目指す方向性や思いを共有して取り組んでいくことが重要であることから、積極的に情報提供を図ってまいります。	
45	5章 構想の推進 のために	第5章には4つの節のうち2つに「市民に分かりやすいまちづくりの推進」「地域の視点にたったまちづくりの推進」という「市民協働」に関わるビジョンが掲げられています。まさに、これからの八千代の未来には、行政主導から市民協働への転換が求められると考えます。そのためにも地域コミュニティ推進計画で掲げられた「まちづくり市民会議」のような市民参加の基盤づくりと共に、そういった場での市民意見を政策決定に反映させるためのまちづくりの仕組み 自治基本条例の策定等が必要なのではないでしょうか。市民協働推進へのビジョン掲出を提案します。	将来都市像の実現に向け、具体的な取組内容については、基本計画の施策体系の中で整理いたします。	
46	5章 構想の推進 のために	人口減少・超高齢化に向き合うには、20～40代の若年世代の定住率が低く流出人口が多いという本市の特徴に着目し、「市民」に対してまちの魅力を高める取組みにフォーカスしていくこと、市民の流出人口を減らし定住率を上げる、仮に一時的に市外に出てもまたライフサイクルに合わせて市内に戻ってくるような ふるさとやちよ」を目指していくことを提案するがどうでしょうか。シビックプライドの醸成がキーワードだと考えます。「市民」にフォーカスすることで結果的に市外への魅力発信にもつながっていくと考えます。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 「構想推進のために」の第3節「多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」において、市民にとって魅力あるまちづくりを推進するとともに、本市に対する愛着や誇りの醸成に努め、定住促進についての取組を行ってまいります。	
47	5章 構想の推進 のために	「多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」の中に、「地域の観光資源の魅力を様々な機会を通じて発信しながら…」とあるが、本市の観光資源は様々がありますがこれもこれではなく強みを生かす意味で 新川、バラ、千本桜などの緑豊かな自然の地域資源」を明記するべきではないでしょうか。これらにフォーカスして、市民協働で魅力を積極的に創り出していくことが大事だと考えます。その旨追記頂くように指摘しておきます。	「構想の推進のために」の第3節「多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」において、地域の観光資源の魅力を様々な機会を通じて市内外へ発信し、積極的に効果的なシティセールスを展開していく旨を記載しております。 なお、主な観光資源については、本文中の「また、本市の恵まれた自然や歴史、特産品、イベント」の次に「のほか、市のシンボルであるツツジやバラ、市民参加によって形作られた新川千本桜といった」を追加します。	○
48	5章 構想の推進 のために	「人口減少・少子高齢化の進行により税収の減収や社会保障費の増加などが懸念」される中、記載されているデジタルトランスフォーメーション(DX)による生産性、効率性向上はもちろんですが、あらたな歳入確保の軸を創出し、歳出の適正化、選択と集中を図る行財政改革」のビジョンが必要ではないでしょうか。また、公共施設のマネジメントについても 圧倒的財源不足」が見込まれている点や、施設からサービスへ、拡充から縮充へ、民間活用・歳入確保の推進などへの転換」の視点も盛り込み 未来を見据えた最適な公共サービスへのビジョンを掲げることが必要ではないでしょうか。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 公共施設の整備及び行財政改革については「構想の推進のために」の第4節「持続可能な行政経営の確立」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。 なお、少年自然の家については、施設の老朽化により4月1日から利用を休止しており、今後の活用方針について検討中です。	
49	5章 構想の推進 のために	民間活用・歳入確保の推進」と共に、前述した「ゼロカーボンシティ」や「RE100」のビジョンに繋げる施策として、建替えが計画されている最大の公共施設 市庁舎」を中心に、ZEB(ネットゼロエネルギービルディング)化や、大規模ソーラー発電の設置などの施策に取組むこと。また、東京都豊島区の「実質0円区庁舎方式」のような民間活用・公有資産活用によって、未来を見据えた最適な公共サービス」のビジョンに繋げることを提案します。		
50	5章 構想の推進 のために	「民間活用・歳入確保の推進」では、セカンドスクール「少年自然の家」を民間活力による運営として経費を縮減、これまでの八千代ならではの学校利用は継続しながら、それ以外の土日をはふくめて使用されていない時間を一般利用を可能とし、本市ならではの自然環境を活用し、周辺の新川流域エリアと一体となったエリアマネジメントによって、施設の魅力を高めて収益性を確保して、新少年自然の家」として存続させ、本市の魅力創出につなげることを提案します。		
51	5章 構想の推進 のために	「持続可能な世界への共通目標であるSDGsに施策を関連させる」とあるが、SDGsの実現を目指すと共に、SDGsへの取組を「未来へつづくやちよ」の持続可能性により積極的につなげるために、日本政府が進める自治体の認定制度「SDGs未来都市」認定を目指すことをビジョンとして掲げることが提案します。政府の認定を受けることで多方面の支援が期待でき、本市の持続可能性が間違いなく高まると考えます。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 また、本年7月に地方創生SDGs官民連携プラットフォームに加入し、推進方法の調査研究を進めるとともに、SDGs未来都市における取り組み事例も参考にしながら、SDGsの達成に向けた推進が図れるよう検討してまいります。 併せて、基本計画における施策で、SDGsとの関連付けを行います。	
52	5章 構想の推進 のために	構想の推進のため 9P 地域の視点に立った街づくりの推進 地域課題の解決にむけて主な担い手である市民活動団体などが主体となった…主な担い手、主体となった活動 これらの表現について一方的であると思われるか?	地域課題の解決に向けては、市民活動団体だけでは限界があり、現在、その方策を検討しているところではありますが、市民・地域・団体・行政等の協力・連携が必要不可欠であるため、第2節「地域の視点に立ったまちづくりの推進」の下段の記載内容を以下のとおり修正します。 『そのため、市民活動やボランティア活動を一層促進するとともに、市民と行政との協働体制の確立に努め、地域づくり体制の構築を目指します。』	○

◆八千代市第5次基本構想(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
53	6章 土地利用	【土地利用の基本的な方針】 このタイトルとすると八千代市第五次基本構想の考え方・制限条件に聞こえ、折角の将来像に影を落としている。6章は修正・編集すべき。 団塊世代の高齢者だけでなく若年世代否、万人にいいぞやちよ(ヤッチー)と呼ばれる様な都市将来像を望みます。	土地は、現在及び将来における市民のための限られた資源であるとともに、生活及び諸活動の共通の基盤です。このことから、将来都市像の実現に向け、「自然と都市の均衡」や「自然環境の保全」、「地域特有の資源や立地を最大限に活かす」といった方針を示しています。	
54	6章 土地利用	「第6章 土地利用の基本的な方針」 この内容はこれから策定される「都市マスタープラン」の基本的方針にリンクするものです。しかしながら基本構想(素案)では (1)資源的特性 (2)社会的特性 という現状を示しただけでこれからの基本方針を示しておりません。 最新の都市計画運用指針の29ページに市町村マスタープランについて解説があり ・土地利用 ・各種施設の整備の目標 ・生活像、産業構造、都市交通、自然的環境等 「現状及び動向を勘案した将来ビジョンを明確にすることが望ましい」とあります。 従って第5次基本構想においてその概略を掲載すべきと考えます。		
55	6章 土地利用	第6章 土地利用の基本的な方針」 人口減少・超高齢化の課題に対して、本市の市街化区域/市街化調整区域の「50-50」の考え方を継続・徹底しつつ、駅周辺部を中心に有効な土地利用を推進する コンパクトシティやちよ」を基本方針、ビジョンとして提案しますかいいかがでしょうか。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
56	全体	総合計画を八千代市の最上位の計画と位置付けているなら、これ迄4回の総合計画を推進してきたのだから、当然これ迄の成果を検証・検証し第5次総合計画に引き継がねばならない。第4次総合計画の対応課題は 前期134で目標指標を達成しているのは45で達成率は33%で落第点である。このような目標を掲げながら、何故目標を達成しなかったのか、何が悪かったのか、やり方が間違っていたのか、努力が不足だったのか、予算が足りなかったのか等の検証・検討が必要であり、改善手段が後期基本計画に反映すべきである。	基本計画における施策の目的、目標の達成度を測る評価基準として設定した指標の達成状況に加え、現状の課題分析、今後の方針を踏まえて第5次総合計画の策定を進めてまいります。	
57	全体	第4次総合計画の現状 第4次総合計画の対応課題は 前期134で目標指標を達成しているのは45で達成率は33%で落第点である。このような目標を掲げながら、何故目標を達成しなかったのか、何が悪かったのか、やり方が間違っていたのか、努力が不足だったのか、予算が足りなかったのか等の検証・検討が必要であり、改善手段が後期基本計画に反映すべきである。		
58	全体	第4次総合計画(前期基本計画)の課題達成率は33%で惨憺たる結果に終わっている。 何が足りなかったのか、なぜ達成出来なかったのかについても検証も反省もなく、責任の所在もハッキリしない。多くの課題が未達成の反面、基本計画や実施計画になかった大型の新規事業が財政措置も不明なまま突如始まる。 このような総合計画なら有っても無くても同じである。計画づくりに膨大な労力、時間、経費をかける必要はないと考える。行財政改革の対象にすべきムダである。		
59	全体	今日まで市を挙げ努力されてきた第4次計画を総括し、成果と欠陥を踏まえた第5次基本構想(素案)だと思われませんが、第4次計画で出来たこと、出来なかったことが、必ずしも市民の目に届いていません。		
60	全体	第5次総合計画立案の検討課題と要望 第5次総合計画のスタートが1年遅れても、これ迄の問題点を整理し未来につながる計画にすべきだと思う。 ①責任部署を明確に公表し、5W1H、PDCA の確実な実施するための、マニュアル作成 ②第4次の成果を検証・検討して評価し、第5次総合計画の改善対応に組み込む。 ③H27年立案の「公共施設等総合管理計画」推進内容を組み込む。 ④H28年立案の「財政運営の基本計画」をもとに財政の改善対応を具体的に推進する。 ⑤市民の声を聞き、意見交換するため「広報やちよ」「やちよご意見箱」市民説明会等の改善を工夫する。 ⑥委員会、審議会に参加する市民人数の増加、特に女性枠を設ける。 ⑦テレワーク、リモート会議など働き方が変化する時代に、財源を考えて新庁舎計画を再検討する。 ⑧市の仕事に関しても、テレワーク、ZOOM による会議などによる工夫する。 ⑨第三者の支援企業に頼らず、計画立案、推進を要望する。	<ul style="list-style-type: none"> ・①第5次総合計画は、令和3年度から始まる計画期間として準備しています。また、八千代市総合計画等策定会議でPDCAワーキンググループを設置し、総合計画におけるPDCAの仕組みについて検討しております。 ・②第5次総合計画の策定に当たり、第4次総合計画後期基本計画における指標の達成状況を確認し、各部署での施策ごとの課題、現状分析を行っており、その結果を踏まえて計画策定に取り組んでまいります。 ・③④⑦「構想推進のために」の第3節「多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。 ・⑤やちよご意見箱については、「構想推進のために」の第1節「市民にわかりやすいまちづくりの推進」に位置付け、基本計画により取組を推進いたします。 ・⑥審議会委員の女性委員の登用については、「構想推進のために」の第3節「多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。 ・⑧「構想推進のために」の第4節「持続可能な行政経営の確立」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。 ・⑨いただいたご意見は、今後の総合計画を策定する上での参考とさせていただきますながら、次期総合計画の策定手法についても研究し、総合的かつ計画的な行政運営を図ってまいります。 	

◆八千代市第5次基本構想(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
61	全体	①八千代市もこれまで第4次, 40年にわたって続けてきた現行の基本構想⇒基本計画⇒実施計画の方式が果たしてベストなのか、過去を総括し見直す必要があると思う。 結論を云えばスローガンの・抽象的・総花的な基本構想と基本計画作成に膨大なエネルギーを使うのは止めて(文章的には出尽くしており同工異曲)、財政状況を踏まえた、優先順位を考慮した実施計画中心の総合計画に転換すべきだ。 ②何を指針として実施計画を策定するのかが問題になるが、現役市長の選挙公約を土台にして、4年毎に更新するのが合理的であり、現実的でもある。 市長は市政運営の基本理念、主要施策を選挙公約に掲げて市民に選ばれた市政の最高責任者である。公約実現に努める義務と責任がある。そのための施策を予算化して実行するのは当然である。結果については4年毎の検証、評価を受け、市民の審判を仰ぐのが公平である。	第4次総合計画では、基本構想・基本計画・実施計画の役割が明確に分かれていることに加え、内容の整合性や連動性が高いことから、第5次総合計画においても三層構造を踏襲しております。 また、庁内組織である総合計画等策定会議の議論を経て、八千代市第5次総合計画策定基本方針を決定し、第5次総合計画の構成や計画期間、策定体制、策定における基本的な考え方についてを整理しています。	
62	全体	第5次(素案)は、第4次から踏襲した内容・見直した内容・新たに追加した内容をPDCAサイクルに従って分かり易く記載して頂きたい。	第5次総合計画策定基本方針の基本的な考え方の中で、総合計画と財政・組織が連動する仕組み確立、経営資源を適切かつ効果的に配分するためのPDCAサイクルの仕組みを検討する旨を掲げています。	
63	全体	基本構想を8年にした理由はなにか 昨年のワークショップでは過去10年刻みであったことが示されておりました。その後8年とする変更があったのですから詳しい説明が必要です。各種計画がほとんど10年刻みになっております。今後総合計画と期間設定がずれますがどのように調整するつもりでしょうか。特に公共施設等総合管理計画(これから策定される公共施設等個別施設計画を含む)は総合計画との連動することが重要と述べています。	本市の人口は、人口推計で令和7年3月をピークとして人口減少に転じるが見込まれており、これまでの人口増加を前提とした計画とは異なる対応が必要となります。加えて、社会経済情勢が短期間で大きく変化する傾向にあり、長期的な財政収支の見直しを立てることが困難な状況であることから、現行計画の期間を10年間から8年間に変更をいたしました。 また、個別計画に関しては、総合計画の策定段階で整合性を適宜図っていきます。 なお、現行計画以前の第3次総合計画では、計画期間を現行計画よりも長い12年間となっておりますが、関連する個別計画についても総合計画の計画期間との整合性が図られております。	
64	全体	基本構想は従来10年でした。今回なぜ8年になったのかご説明ください。		
65	全体	総合計画の1年延期 近隣市で令和3年度に開始予定の総合計画を1年延期する決定を下した自治体があります。コロナによる影響を鑑みた選択です。八千代市においてはコロナの影響もさることながら課題抽出が十分に行われていないことから1年延期をご提案します。	令和3年度をスタートとする計画期間で策定準備を進めておりますが、新型コロナウイルス感染症が収束していないことから、今後の状況を注視し、必要に応じて内容を見直しを行いながら策定してまいります。	
66	全体	4+4=8年で発生する課題 現在八千代市の市長選挙は各基本計画スタート年次の5月に実施予定です。マニフェストを実現するためには基本計画の組換えが必要ですがどのような体制を考えているのか説明をお願いします。 市民に開かれた行政運営を実現するためには明確な方向性を示しませんと総合計画が形式的な計画という印象を与えかねません。	総合計画は、中長期的な行政運営を図るための指針であることから、計画期間中に大きく変わってしまうことは好ましくないと考えておりますが、施策の体系を整理した基本計画では、社会情勢の変化や市民ニーズへの対応などにより、見直しの必要が生じた場合は、計画期間中でも見直しが可能である旨を八千代市第5次総合計画策定基本方針で示しております。	
67	全体	策定スケジュール 令和3年度初めに市長選があり、第5次基本構想/総合計画の最終決定は現市長再選も含め新体制になってから行うべきだと思います。あるいは、新体制を待たず最終決定をするのであれば、「市長が変わった場合は修正可能」ということを第5次基本構想/総合計画に記すか、別途条例で定めるべき。		
68	全体	基本計画が4年ごとです。スタート年次の5月には市長選挙が実施されます。市民の声を反映するためには組換えが必要ですがどのような体制を考えているか示してください。特に市長が交代となればマニフェストの実現のためにも大幅な変更も視野に入れる必要があります。市民に開かれた行政運営を標榜するのであれば避けて通れない対応とします。		
69	全体	基本構想は期限を定める必要はない 基本構想はまちづくりの方向性を示すものです。外部環境の変化が加速化しているからといって小刻みに計画すべきものでしょうか。本来は長期で考えるもので期間を定めることにはなじまないと思います。また、変更を必要とするのであればその都度変更すればよいのであってまさしく外部環境順応性を発揮すべきと考えます。まさしく持続可能な地方創生に繋がります。	基本構想の期間を設定しない自治体もありますが、本市では基本的な考えを踏まえつつ変化の激しい社会経済情勢への対応に必要な見直しを行うため、期間の設定をしております。	
70	全体	基本構想とは本来長期に渡るまちづくりの方向性を示すものではないでしょうか。従って期間を定めるものではなく必要があれば逐次修正を加える構造にすべきと考えますがいかがでしょうか。期間を定めない自治体としては流山市や福山市があります。		
71	全体	基本構想案は、他の自治体と比べ市民に十分な説明がなく、「市民にわかりやすいまちづくりの推進」に矛盾していませんか。基本構想の策定過程が市民に理解しやすい方法(フロー図や参考意見等)で逐次情報公開がなされておられません。	貴重なご意見として参考とさせていただきます。策定過程をお示ししながら策定してまいります。	
72	全体	他の自治体のプロセスに比べると市民への十分な説明がなく、第5章第1節の「市民にわかりやすいまちづくりの推進」に矛盾しませんか。		
73	全体	市民にわかりやすいまちづくりの推進とあります。基本構想のパブコメに関して言えば将来都市像の策定過程、基本構想の策定過程が市民に理解しやすい方法(フロー図や参考意見等)で逐次情報公開がなされておられません。		
74	全体	従来から話題になっていたSociety5.0、DXなどのデジタル化のテーマは急浮上した感染症対策の一貫として各地で急速取り上げられております。これらはすべての柱に関係がありますので「新未来対応のまちづくり」(新しい生活様式に対応したまちづくり)として柱の追加をご検討下さい。	デジタル化の推進により、行政サービスの効率化や質の向上、市民へより早く正確に必要な情報の提供が期待できることから、分野横断的に全庁で取り組むべきものとして「構想推進のために」の第4節「持続可能な行政運営の確立」の中で位置付けております。	

◆八千代市第5次基本構想(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
75	全体	安心・安全に暮らせるまちづくりにおいて重要なライフラインは上下水道だけではありません。電気・ガスなどのエネルギーについてもライフラインとして提案が必要ではないでしょうか。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 なお、電力・都市ガス等のライフライン供給事業者と国や自治体との連携による災害対応力の強化については、現在策定中の国土強靱化地域計画で取組内容を検討中です。	
76	全体	産業が元気なまちづくりにおいて「観光」がありません。4次基本構想では存在してございました。他の項目で触れている部分がありますが産業分野で語る必要があるのではないのでしょうか。	観光とシティプロモーションを合わせてシティセールスを一体的に実施するため、「構想推進のために」の第3節「多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」で整理しました。	
77	全体	基本構想(総合計画)とマスタープラン 基本構想は8年、マスタープランは20年スパンとのことなので、普通に考えればより長期スパンの計画が上位であるべきであり、バラバラに見直すのも整合性に疑問が残るし、より上位の基本構想をわずか半年くらいで策定するのに、マスタープランを数年かけて策定する、というのはおかしいと思います。基本構想ももっと時間をかけて広く意見を聞き、市民の方が納得する構想を作るべきではないのでしょうか。 ①新体制(現市長再選も含めて)になってから基本構想(総合計画)、マスタープランをセットで考える。 ②基本構想を20年とし、総合計画とマスタープランは一体化し、基本構想とマスタープラン(あるいは総合計画)のセットで将来に向けての構想計画を市民に示す。	個別計画に関しては、総合計画との整合性を適宜図っていきます。	
78	全体	コロナ対策 市独自のコロナ検査の対策が必要である。コロナ担当者を決め、市民のコロナ意識の啓もうをはかって感染拡大を防止する。市は、検査・入院等、県の支持を待たず、市独自の対策をもつ。市民のコロナの意識向上をまず図ることが大切だ、「市は市民のコロナ意識の啓蒙をはかる。」	新型コロナウイルス感染症への対応については、「構想推進のために」で次の記載を追加します。「また、令和2(2020)年に、世界中に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は市民生活や企業活動に大きな影響を及ぼし、新たな生活様式が提示されるなど、これまでとは異なる社会の価値観に立った取り組みが必要とされています。このため、既存の考え方にとらわれず、感染症対策を始めとした様々な状況の変化に対応したまちづくりを進めていきます。」	○
79	全体	ウィズコロナ、ポストコロナに関する記述が基本構想ではありません。コロナ収束後も同様の感染症によるパンデミックにより市民の暮らしを脅かす必要があるかと思えます。市民の安心・安全のために感染症における記述をすべきではないのでしょうか。		
80	全体	ウィズコロナ、ポストコロナにおいて、市職員・市民の働き方改革における記述を入れるべきではないのでしょうか。(テレワーク等)		
81	全体	新型コロナについて一言も触れていないことに違和感を覚えました。前文をつけるか、最初の章にでも、市としての思いを加える事は出来ないのでしょうか。多くの方が自分たちの暮らし方について問い直すきっかけになったと思います。特に教育や働き方について。今まで通りやこれまでの延長で本当によいのでしょうか？		
82	全体	本年八千代市は当初より早く20万人に達しましたが、最新の統計では人口ピークは2025年に前倒しになっています。人口減少を抑制する施策の検討を基本構想内に追記を検討ください。	令和2年3月に改訂した八千代市人口ビジョンでは、本市の人口は第5次基本構想の期間中で人口減少に転じることが見込まれており、少子化対策は重要な課題であると認識していることから、柱である「ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり」の施策の大綱として「子ども・子育て」を重要な位置付けとして掲げ、取組を行っていきます。 また、「構想推進のために」の第3節「多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」において、市民にとって魅力あるまちづくりを推進するとともに、本市に対する愛着や誇りの醸成に努め、定住促進についての取組を行っていく旨を記載しております。	
83	全体	これから人口減少が止まらない時代に入ってきます。人口増加がそれほど期待できない中、定着住民を確保する必要があります。そのためには、30～40代の女性が住みやすいと思うかがカギだと思います。教育、医療等、子どもに関する取り組みがどれだけ斬新でわかりやすく手厚いかが大事ではないのでしょうか。 災害が気候変動とともに多発する時代に入ってきました。各地域の避難所の環境や物的充実をこれまで以上に予算を付けて図り、町内会との連携も密にする必要があると思います。 コロナでも明白な通り、今後いっそう地方公共団体の役割が増加します。SDGsを市でもどうやって取り組めるかを示す必要があるのではないのでしょうか。他市でも実施しているように再生エネルギー(太陽光)を公共で運用したり、企業を誘致して、地産地消事業を市でも進めることにより税収の減少をくい止め、市民の就労を増やし定住に結びつけてはどうだろうか。災害時、地産地消エネルギーがあれば昨年のような大規模停電は防げるのではないのでしょうか。 この次の基本構想はこれまで以上にコロナ後の社会を想定したものでなければなりません。この市は遅れると思います。持続可能な社会を目指す必要がこの2、3年の世界的気候変動でもう待たないです。これを踏まえた画期的な構想の変革をお願いします。	「ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり」で施策の大綱「子ども・子育て」として新たに位置付けており、少子化対策は重要な課題であると認識しています。 「快適で環境にやさしいまちづくり」の柱では地球温暖化防止の取組を、「産業が元気なまちづくり」の柱では地域産業の振興に向けた取組を図ってまいります。 また、これまで地域経済の発展と環境保全を両立させた本市のまちづくりの取組は、経済・社会・環境に及ぶ広範な課題に対して総合的に取り組むSDGsの理念と共通していることから、基本計画で整理していく施策の中でSDGを関連付け、総合的に取り組んでまいります。	
84	全体	公共施設の最適化が急務と考えます。平成26年の有識者会議による提言では今後40年間における公共施設の更新・大規模改修費用の不足を解消するために、公共施設の約27%(中央図書館、市民ギャラリー建設前の段階での数値)を削減する必要があるとしています。第5次総合計画ではどの程度削減するのでしょうか。基本構想の段階から定量的な数値目標を掲げてください。	基本構想はまちづくりの大まかな方向性を示すものであり、具体的な取組や数値目標は基本計画の施策体系の中で整理し、住民ニーズや時代の変化、課題に柔軟性を持って取り組んでまいります。	
85	全体	市内の公共施設の60%は学校です。他の自治体に比べると比率が多く、統廃合の議論が必要になるかと思えます。今後の統廃合を見据えた基本構想とする必要があるのではないのでしょうか。		
86	全体	構想の実現には財政が大きく関わってくると思われま。市財政の健全化を願うとともに、不急の市庁舎新築計画を後回しにしても、市民の思いに添った事柄に焦点を当て、八千代市民のためになる基本構想実現を願うものです。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	

◆八千代市第5次基本構想(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
87	全体	①計画期間は、令和3(2021)年度から令和10(2028)年度の8年間であるが、この間にビックプロジェクト(多額の財政支出)である市庁舎の建替え及び清掃センターの設備等の更新又は大規模修繕等が予定されており、財政規律を保つ基本的な考え方についても記載して頂きたい。	「構想の推進のために」の第4節「持続可能な行政運営の確立」で、行政全体の最適化や業務の生産性や効率性の向上に取り組み、市民サービスの向上を目指してまいります。	
88	全体	老朽化したインフラについて 人口は2025年がピークでその後減少に転ずる見通しですが、その前提においての税収見通しの上で老朽化しているインフラをどのように優先順位をつけて対応するのでしょうか。美辞麗句が並んでいても元手が無いと何もできません。民間ではコロナにより働き方が大幅に変わりました、市も変わるチャンスだと思います。従い、新市庁舎については抜本的な見直しを行い、存続が危ぶまれている少年自然の家の改修等、基本構想でも重視している子どもにも振り向ける費用を捻出することを構想として記すべきだと思います。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
89	全体	公共設備の建て替え時に民間資金を利用する。 八千代台自治会館の跡地にコミュニティスペース、八千代台図書館、八千代台自治会館等の施設が入るビルを建て、上部はマンションや貸事務所とし、土地の多角化を図る。経費は、土地を売却し必要な階を買い取る方法もある。		
90	全体	市役所の市民サービスとしてワンストップサービスを取り入れる。 市役所は縦割り組織だが、住民は縦割り組織的に生活しているのではないので、たらいまわしにされるのを防ぐ為に住民の窓口は、「ワンストップサービス課」とし、「ワンストップサービス課」が関係部署の調整を実施し解決を図る。		
91	全体	基本構想の計画期間が、令和3年(2021)年度から、令和10年(2028)年度までとしていますが、八千代市が置かれている財政状況などを考慮すると種々の問題点が指摘されます。 八千代市の将来像の実現に向けた5つの柱を掲げていますが、第2節 豊かな心と文化を育むまちづくり、第3節 安心・安全に暮らせるまちづくり、謳い文句は立派ですが、そう言ったことは財政が豊かでなければ実現できません。	「構想の推進のために」の第4節「持続可能な行政運営の確立」で、行政全体の最適化や業務の生産性や効率性の向上に取り組み、市民サービスの向上を目指してまいります。	
92	全体	「新庁舎建て替え建設計画」は見直しを。今回、村上山小学校・萱田小学校・萱田中学校等の体育館の雨漏り、前述の予算をそちらに廻すため、1～2年の積立金の延期ということですが、単に延期でなく、現在の八千代市の置かれている財政状況から、身の丈にあった相応の庁舎計画に考え直すべき。	公共施設の整備については「構想の推進のために」の第4節「持続可能な行政運営の確立」に位置付け、基本計画及び個別計画の策定過程で検討してまいります。	
93	全体	新庁舎に関して言えば・・・、将来人口の減少が予想される中、何故、現在の市庁舎より大きな面積にする必要があるのか。		
94	全体	他の公共施設の耐震化を要するのは急務(公共施設の老朽化、多くの施設が築40年を経過) 耐震化を推進する施設 9施設(清掃センター・高津南保育園・消防団第4分団等) 休止・廃止する施設 6施設(少年自然の家・八千代台図書館・八千代台自治会館等) これらに留まらず小中学校・公民館等の大幅な改修・補修は、地域に根ざした施設であり、子供達の教育環境の改善は急務 第4章 施策の大綱 子供・子育てを謳っているが、小生の住む「高津南保育園」などは、あまりに施設として貧弱です。これでは子供が可哀想です。 必然性のない「農業ふれあいの郷」の建設・総合グラウンド・中央図書館、いずれも財政が潤沢にある自治体を持つものです。それらの建設により他の公共施設の改修等が維持できなければ、それを利用する地域の市民・子供たちにとって不利益を被るわけです。		
95	全体	人がつながり 未来につなぐ 第4次よりふくらんで、とても素敵なフレーズだと思います。 つながる、つなげる 行政(市・県・国)と市民、商業と住民、文化と商業、農業と商業・企業と自治体、過去未来、挙げればきりが無いほど色々なつながりがあると思います。これにもうひとつ、市としての役割を担っていただきたいものとして、「近隣・隣接する市とのつながり、機能・機関の充実だけでなくイメージアップにも取り組む」ことが謳われているとさらに未来は広がり開かれた行政のイメージになると思いました。 京成電鉄・東葉高速鉄道・国道16・296号・新川と地理的にも他市とのつながりは外せません。 船橋・習志野・八千代市・佐倉市と商業・観光などで連携をとり、京成・東葉高速の住みたい街としてイメージアップを図る。 八千代市のみならず鉄道沿線の活性化をうながす取り組みを少しでも盛り込んでほしいと思います。 第5次基本構想に鉄道を巻き込んだ他市連携の地域政策とイメージアップの取り組みの文言を盛り込んでいただけると希望します。 ※都内方向の導線はありますが、柏や千葉など千葉県横断の導線はやはり少ないように思います。これも計画にいれられないのでしょうか。	基本構想はまちづくりの大まかな方向性を示すものであり、具体的な取組については基本計画の施策体系の中で整理し、住民ニーズや時代の変化、課題に柔軟性を持って取り組んでまいります。	
96	全体	「市民協働のまちづくり」を推進するという上において、今回この「第5次基本構想」策定にあたっていきなりパブリックコメントが行われていること自体がどうなのでしょう。政策形成過程における市民参加を促進するのであれば、市民意見を頂くワークショップやシンポジウムの機会が必要なのではないでしょうか。コロナ禍でできないというなら、それこそデジタル技術を活用して、オンラインでのウェビナーでの開催だって可能です。市民参加の取組みを検討するよう要望します。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 基本構想の素案につきましては、作成前段階において昨年の9月に市民意識調査、9月14日から10月6日の期間でワークショップ、11月2日にワールドカフェを実施いたしました。(内容については、市ホームページをご参照ください。) また、パブリックコメントの実施に先立ち、今年の7月29日に市民の代表である市議会議員への説明会を実施したところですが、今後は、「構想の推進のために」の第1節「市民にわかりやすいまちづくりの推進」の中で行政の説明責任を果たしていくこと、政策形成過程への参加機会のさらなる充実に向けた検討を実施してまいります。	

◆八千代市第5次基本構想(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
97	全体	<p>第5次基本構想に、八千代市として性的マイノリティーのためのパートナーシップ条例の導入を盛り込むことを提言します。また、市外に転出すると効力を失ってしまう(例:千葉市)制度では、不利益が大きいため、パートナーシップ制度を導入している自治体とパートナーシップ制度のパートナーシップを締結し、再度の手続きの必要がなくパートナーシップ制度の効力を発揮できる仕組みを周辺自治体と協力して構築することを提言します。</p> <p>また子育てや生活で多様な困難に直面している性的マイノリティーへの支援の拡充、相談体制の確立、学校教育や社会教育を通して正確な知識の普及と人権意識の啓発を要望します。</p> <p>性的マイノリティーのカップルが置かれている子育て環境は、非常に脆弱です。そもそもカミングアウトができていない場合、ひとり親家庭として認知されている場合も多く、また同性パートナーの場合、職場で用意されている種々の福利厚生を利用することにも困難がともないます。同性パートナーシップ制度を導入することで、市内企業・各種事業所等に対して知識と意識の啓発を促しやすくなり、より当事者が様々な制度を利用しやすくなることか期待されます。</p> <p>市としてパートナーシップ条例を導入することは、子どもたちに将来を生きる希望を与えることができる大きな手段であると考えます。性的マイノリティーに対する相談・支援体制の強化は急務です。ここにある文言は、まさに多様性の尊重と包摂性を書き表しているものであり、市として積極的に同性パートナーシップ制度を導入する根拠として書かれているものとも読むことができます。</p> <p>八千代市として同性パートナーシップ条例を策定し、性的マイノリティーの存在を認め、支援・相談体制を明確化するとともに、教育を通して多様な性のあり方・生き方に関する正しい知識を普及し人権意識を向上させることは、性的指向および性自認に関わらずすべての市民が安心して、より良い生活するために必要なものであるといえます。</p>	<p>性的マイノリティの方を含め、多様性を認め合い誰一人取り残さない包摂性のある社会の実現に向けた取組を進めるため、「構想の推進のために」の第3節「多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」を位置付け、具体的な取組内容は基本計画の策定過程で検討してまいります。</p>	
98	全体	<p>観光勤労年齢住民にとって“住みたいまち やちよ”構想”として、例えば、市の中央部にある新川と京成ばら園を憩いの場所として観光資源化し有効利用を図る。また国道16号線周辺から北部にかけて広がる農村地域の観光資源化を図る。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p> <p>観光については、シティプロモーションを合わせてシティセールスを一体的に実施するため、「構想推進のために」の第3節「多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」の中で取り組んでまいります。</p>	
99	全体	<p>8年の基本構想なので、全て望ましい姿になっていますが、八千代市の地政的な構造を具体的に分析した上で、各章ごとに具体的な施策を、表明することを望みます。人口の3パーセントに達している外国に関わる住民について、対策を表明するように要求します。</p>	<p>外国籍の住民に関することは、「構想推進のために」の第3節「多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」において多文化共生について、表しているところです。</p>	
100	全体	<p>市内外への情報発信の記述があります。どのような情報発信を今後するのでしょうか。現在の八千代市の情報発信は十分ではないと理解しておりますので、今とは異なる情報発信の方法を検討し、記述すべきかと思います。</p>	<p>基本構想はまちづくりの大まかな方向性を示すものであり、具体的な取組については基本計画の施策体系の中で整理し、住民ニーズや時代の変化、課題に柔軟性を持って取り組んでまいります。</p> <p>「構想推進のために」の第1節「市民にわかりやすいまちづくりの推進」の中で、市政に対する積極的な情報提供により行政の説明責任を果たしていく旨を記載しており、多様な媒体を通して適切なタイミングで市政情報を幅広く発信してまいります。</p> <p>また、観光とシティプロモーションを合わせてシティセールスを一体的に実施するため、「構想の推進のために」の第3節「多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」の中で取り組んでまいります。</p>	
101	全体	<p>八千代市は生産年齢世代の転出が多いため、転出を防ぐための方法を基本構想で記載すべきではないでしょうか。</p>	<p>「構想の推進のために」の第3節「多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」において、市民にとって魅力あるまちづくりを推進するとともに、本市に対する愛着や誇りの醸成に努め、定住促進についての取組を行ってまいります。</p>	
102	全体	<p>八千代市からの転出を防ぐために、市外へのアピールも重要ですが、市内に対しての八千代市のアピールも必要なのではないでしょうか。基本構想にてお考えください</p>		
103	全体	<p>ボランティア制度の充実をはかる。</p> <p>1)有償ボランティア制度を設け、元気な高齢者に市役所の業務の一部や環境整備に尽力して頂く。市役所職員や外注業者を使って業務を行うより、一人一人の効率は低いかもしれないが、大人数が携われるので、全体としては、費用が抑えられ、高齢者のやりがいや生きがいにつながり、高齢者が健康に過ごせるメリットが期待できる。</p> <p>2)資金として、市民活動団体支援金を適用する。市民活動団体支援金の資金は個人市民税の1%、約1.2億円であるが、実際に交付されているのは400万円ぐらいである。この資金を使う。</p> <p>3)地域ポイント制度にもこの資金を適用し次年度以降も継続する。地域ポイント制度には有償無償ボランティア活動も含める。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p> <p>ボランティアについては、「構想の推進のために」の第2節「地域の視点に立ったまちづくりの推進」などに位置付け、基本計画により取組を推進いたします。</p>	
104	全体	<p>学校教育 特色ある教育として、例えば英語教育やディスカッション能力の向上 学区制度を廃止して住民が学校を選ぶ。これらにより外部評価を高める教育を行なう。</p>	<p>学区制度の廃止については現在検討しておりませんが、いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p> <p>学校教育については、「豊かな心と文化を育むまちづくり」で施策の大綱「教育」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。</p>	
105	全体	<p>危機管理について自助・共助について記載されているが、何時発生してもおかしくない大災害時と共存が想定される新型コロナウイルス拡大防止のための避難所における3密を避けることやソーシャルディスタンスを保つ公助としての基本的な考え方についても記載して頂きたい。</p>	<p>新型コロナウイルスへの対応については、今後のワクチンや治療薬の開発、感染の拡大状況など、取組が大きく変わってしまう可能性があることから、基本構想では具体的な内容を記載しておりませんが、基本計画では新型コロナウイルスへの対応のほか、新たな感染症対策などへの対応についても位置付けを検討していきます。</p>	

◆八千代市第5次基本構想(案素)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
106	全体	その中で、重要な言葉が「レジリエンス」だと思います。いかに強靱なインフラを構築していくかということをもっと基本構想の中で表現すべきです。	第5次総合計画の策定と並行して国土強靱化地域計画の策定を進めており、いかなる大規模自然災害が発生しても機能不全に陥らず、迅速な復旧・復興が可能な、「強さ」と「しなやかさ」を持ち、市民が安心・安全に暮らせるまちになるために推進していくことから、「第3節 安心安全に暮らせるまちづくり」の「暮らしの安全」の下段で、「災害に強いまちの推進を図るとともに、」を「まちの強靱化を図っていきます。」に修正します。	○
107	全体	災害に強いまちづくり 昨年台風で八千代市にも停電等の被害が出たり避難所の雨漏り、避難所運営等多くの問題点が顕在化したと思います。今後災害が多発すると警告されています。災害に強い街づくりを基本構想に盛り込むべきだと思います。		
108	全体	今、市外に流出している巨額のエネルギー費用(600億円)を市が市内に循環させ、地域の活性化を図ることに力を注ぐことが必要だ。 ・屋根上の太陽光発電を多くして、市外に流出している巨額エネルギー費を市内に循環させて地域の活性化を図ることが急務だ。 ・ペラダ発電にとり組み、家庭内の電力発電を自家製のものとして電力料金をうかせる。 ・一家に一台のポーターブルソーラー&電源で自然エネルギーをたくわえ、災害時電源に備える。 地産地消のエネルギー循環を生み出す。少子高齢化が進む未来に向けての地域活性のまちづくり例になる。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
109	全体	まちの景観の策定を入れる。 八千代台駅西口のビルの多くは、建て替え時期に来ていると思われるので、ビルの建て替えた後の街並みのビジョンをビルオーナーを含め検討し、統一感のある綺麗な景観にする。	担当部局において京成線沿線地域の活性化を検討していく際の参考とさせていただきます。	
110	全体	今後の八千代市の発展のために要望したいことがあります。それはゴミの問題さらに環境問題に関してであります。世界中でも、プラスチックゴミに対する取り組みがなされているようです。スーパー、コンビニのポリ袋の有料化により、一歩踏み出した感があります。ゴミ収集に際して分別の細分化に取り組みないでしょうか。さらに毎年疑問に感じている、新年のゴミ収集の休みです。正月早々、家の中にゴミが堆積されています。交代とか何か方策がないのでしょうか。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
111	全体	経済“住みたいまちやちよ構想”は経済面において「人が集まり、事業が興る。事業が興れば経済が発展する。経済が発展すれば税収も上がる。」として人との行き来の活性化、そして経済の活性化を図る。中でも人が集まるためにスムーズな交通を目指して交差点の改修などの道路整備を図る。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 道路交通については、「快適で環境にやさしいまちづくり」で施策の大綱「総合交通・道路環境の整備」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。	
112	全体	総合交通・道路環境整備に自転車の活用を進める方針を入れる。 自転車の活用を容易にすることで利便性が上がる。バスや自動車を使わないのでCO2削減地球温暖化の抑制に貢献できる。 1) 自転車レーンの表示をし、安全に走行できるようにする。 2) シェアサイクルのステーションを設け、短距離の利便性を高める。サイクリングの為に新川ウオーターフロントへのアクセス道路を考えると、観光にも貢献できる。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 自転車については、「安心・安全に暮らせるまちづくり」で施策の大綱「暮らしの安全」に位置付け、基本計画及び個別計画の策定過程で検討してまいります。	
113	全体	総合交通・道路環境の整備に京成線を渡る道路の整備を含める。 八千代台西の京成線高架下の道路の片側通行を相互通行できるように道路を拡幅する。県道262号線からの右折レーンが設置されることは、交通量が増えてきたことであり、それに合わせて高架下の片側通行の解消は必要である。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 道路整備については、「快適で環境にやさしいまちづくり」で施策の大綱「総合交通・道路環境の整備」に位置付け、基本計画及び個別計画の策定過程で検討してまいります。	
114	全体	第4節 快適で環境に優しいまちづくり 1. 市街地・住環境の整備、道路、2. 総合交通、道路環境の整備、地域の実情に即した、交通ネットワーク等も謳われていますが、高津地区は、市役所・市民会館・医療センターに行く直接の交通手段がありません。それらは生活の足として強く要望するものです。 また、住宅街の道路は「生活道路」ということで補修・改修の優先順位は一番低いということですが、私たちの街も発足して45年、この間、大掛かりな道路の補修は行なわれていません。八千代市の道路はどれも同じような状況です。それらに廻す予算も十分考慮して載きたい。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 交通手段及び道路整備については、「快適で環境にやさしいまちづくり」で施策の大綱「総合交通・道路環境の整備」に位置付け、基本計画及び個別計画の策定過程で検討してまいります。	
115	全体	八千代台地区(西、北、南、東)については、八千代台団地が出来てから一度も大規模な都市計画の変更が行われておりません。八千代台地区の道路は、道路幅が狭く歩行者が通るときに車にぶつかりそうになる時が多々ありますし、幼児、高齢者に優しくありません。用途地域が緩和されれば道路拡張や建物を作り替えるときセットバックが可能になります。又市長の公約でもある形成八千代台駅の高架化をするためにも、メイン道路と駅周辺の道路を都市計画決定する必要があると思われます。 八千代台地区の用途地域の変更と、京成八千代台駅高架に伴う周辺道路を都市計画決定することを望みます。	「快適で環境にやさしいまちづくり」で施策の大綱「総合交通・道路環境の整備」に位置付けを整理して取り組んでまいります。 また、総合計画策定後に個別計画である都市マスタープランの改訂が予定されていることから、担当部局と寄せられた意見を共有し、快適性と自然が調和したまちづくりを目指します。 なお、京成本線の高架化は国・県からの補助金が確保できず断念せざるを得ませんが、今後は高架化とは別に京成線沿線の活性化を検討してまいります。	
116	全体	ライフラインのうち上下水道については記載されているが、道路・橋梁等が記載されていない。本市が管理している道路・橋梁等もライフラインであり考え方を記載して頂きたい。	道路・橋梁の整備については、「快適で環境にやさしいまちづくり」で施策の大綱「総合交通・道路環境の整備」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。	
117	全体	新市庁舎の構築を今一度考え直す。 市は市民と一体となって共感し合う計画のもと新市庁舎を計画し構築して未来にむけて突進する。優れた市民の考えを市は思いきってとり入れることが未来にむかうこととなる。 ZEB実現には省エネ、創エネ、蓄エネ技術のベストミックスが必要である。ZEB庁舎を実現させよう。ZEB庁舎の実現が地産地消のエネルギー循環を生み出し、教育面・高齢者等の資金を豊かにすることとなるだろう。市庁舎整備の基本理念をみごとに映かせましょう。八千代のバラの花を美しく映かせ続けましょう。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	

◆八千代市第5次基本構想(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
118	全体	商店街の活性化の方法を見直す。 エポラ通りの一部は駐車禁止になっていますが、以前に比べ現在の交通量は減少していると思われるので、駐車禁止の意味はどこにあるのでしょうか。状況が変化していますから、現状の価値観に合わせ、市民の利便性と商店街の活性化を図るために、エポラ通りにコインパーキングを設け、短時間の買物、飲食、郵便局、銀行、市役所等の利便性を上げてはどうでしょうか。店の売り上げに効果があり、税収増も期待できる。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 商店街の活性化については、「産業が元気なまちづくり」で施策の大綱「商工業」に位置付け、基本計画及び個別計画の策定過程で検討してまいります。	
119	全体	「地産地消」も重要ですが、食べる食材は八千代市のものを使うという「地消地産」の考え方を基本構想に入れ広めることが重要ではないでしょうか。	基本構想はまちづくりの大まかな方向性を示すものであり、具体的な取組については基本計画の施策体系の中で整理し、住民ニーズや時代の変化、課題に柔軟性を持って取り組んでまいります。 農作物の市内流通や特産品については、「産業が元気なまちづくり」で施策の大綱「農業」に位置付け、基本計画及び個別計画の策定過程で検討してまいります。	
120	全体	八千代市の名産のアピールを加えるべきではないでしょうか。八千代市の梨はレベルも高く、にんじんを用いたドレッシングやジャム、古代米などが農産物としてはアピールポイントかと思えます。		
121	全体	基本構想ということで、大きな方向性なので広がりがある文章となっていることは理解していますが、将来を考えていくときにぜひとも考えていただきたい。キーワードは「レジリエンス」です。昨今の気候変動リスクによる豪雨や台風あるいは地震などを考えた時に、行政としてもっとも重視しなくてはいけないのが、安全・安心とその「レジリエンス」と思えます。	第5次総合計画の策定と並行して国土強靱化地域計画の策定を進めており、いかなる大規模自然災害が発生しても機能不全に陥らず、迅速な復旧・復興が可能な、「強さ」と「しなやかさ」を持ち、市民が安心・安全に暮らせるまちになるために推進していくことから、「第3節 安心安全に暮らせるまちづくり」の「暮らしの安全」の下段中、「災害に強いまちの推進を図るとともに、」を「まちの強靱化を図っていきます。」に修正します。	○
122	全体	第5次計画の基本構想の問題点 *第5次の基本構想を議会で議論もせず、市民説明会もせず、パブコメを収集するのか。 *第4次の成果が整理されていないまま、第5次構想が策定されている。 市民代表の市長、議員は認識を市民と共有し、問題点を改善・推進するのが目標管理だと思ふ。 *公共施設等総合管理計画の推進に言及がなく、どの項目に入るのか明確ではない。 *財政に関しても「財政運営の基本計画」にも言及がなく、目標値との関係が不明確のままである。 *当市の最大投資となる新市庁舎117億円に関しても全く記述がない。必要性和費用に関して市民に理解を得るような説明が必要ではないか。 *コロナ対策によりテレワーク、リモート会議などが実施され、働き方の形態が変わりつつある。いつまでも1か所集中の身の丈に合わない新庁舎計画を再考する時期ではないか。 *全体として行政がリードしていくのではなく、市民を支援して改善していこうとしているようだが、第4次の市民主体の運営を削除している。どのように基本姿勢で対応するのか理解できない。 *行政の問題点、市民の声を公表する場がない。市民参加の対応を考えてもらいたい。 *生活環境状況を他市との比較で公表し、改善策の提案又は市民の提案を求める	基本構想策定に当たって参考とさせていただきます。 基本構想の素案につきましては、作成前段階において昨年の9月に市民意識調査、9月14日から10月6日の期間でワークショップ、11月2日にワールドカフェを実施いたしました。(内容については、市ホームページをご参照ください。)また、パブリックコメントの実施に先立ち、今年の7月29日に市民の代表である市議会議員への説明会を実施したところです。引き続き機会を捉えて市議会議員へ説明を行うとともに、計画策定における進捗状況や内容について市ホームページ等で随時示してまいります。 なお、基本構想はまちづくりの大きな方向性を示すものであり、具体的な取組については基本計画の施策体系の中で整理し、住民ニーズや時代の変化、課題に柔軟性を持って取り組んでまいります。 第4次総合計画後期基本計画については、施策の目的、目標の達成度を測る評価基準として設定した指標の進捗について調査を実施し、計画期間の途中段階で133指標のうち30指標が目標達成、56指標が向上している状況です。指標の達成状況に加え、現状や課題分析、今後の方針を踏まえて第5次総合計画の策定を進めてまいります。	
123	全体	八千代市は市内の重要拠点として八千代台、勝田台、八千代中央、緑ヶ丘地区となっておりますが、そこで市面積の3分1を占める地区としてバランスを取るため、北部の拠点として陸中学校周辺に公共施設の集約を考えています。 1)小、中学校の一貫校(小、中学校一校ずつ) 今後小学校の生徒数も減少し通学路も狭い、歩道がない、カーブが多く見通しも悪い、狭い道路に迂回者が多い7~8時の間に約150台も通過する。保護者も統合を希望している。防犯上も可、交通の利便性も良い。 2)スーパーセンターの誘致(高齢者の買い物不便) 3)公民館、郵便局 市役所出張所、地域集会所の集約(駐車場を一か所にまとめる。空地あり地主の提供もある)	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
124	全体	「グリーンリカバリー」 今欧州中心で進められているようですが、八千代の市民も大いに勉強しましょう。		
125	全体	今後の八千代市を考えるときには、人口の維持、とくに勤労年齢住民の人口の発展的な考え方をもって取り組んで初めて維持ができるものとする。そこで八千代市の今後を考えるとき勤労年齢住民にとって「住みたいまち八千代構想」を提案する。	第5次基本構想の計画期間中に本市の人口が減少に転じることが見込まれており、少子化対策は重要な課題であると認識していることから、柱である「ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり」の施策の大綱として「子ども・子育て」を重要な位置付けとして掲げ、取組を行っていきます。 また、「構想の推進のために」の第3節「多様性のあるまちづくりの推進と魅力発信」において、市民にとって魅力あるまちづくりを推進するとともに、本市に対する愛着や誇りの醸成に努め、定住促進についての取組を行っていく旨を記載しております。	
126	全体	地球規模で取組む必要がある、SDGs、COP21 にたいして、市の取組を構想に盛り込むべきと思います。 第4次では「温室効果ガスの削減、新エネルギー・省エネルギーへの取組」とあるのに第5次では「環境負荷の低減」という文言のみで非常に後退した表現になっています。「RE100」への具体的な取組、「SDGs 未来都市」2050年ゼロカーボンシティ」宣言をしてほしい。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 また、本年7月に地方創生SDGs官民連携プラットフォームに加入し、推進方法の調査研究を進めるとともに、SDGs未来都市における取組事例も参考にしながら、SDGsの達成に向けた推進が図れるよう検討してまいります。 併せて、基本計画における施策で、SDGsとの関連付けを行います。	
127	全体	平和都市宣言 宣言文の重要性は現在更に増していると思うので、基本構想に平和都市宣言の理念を盛り込んでいただきたいです。	基本構想には位置付けいたしません。総合計画の製本時に基本構想以外の部分で都市宣言について記載することを検討します。	
128	全体	八千代市はすべてにおいてそこそこ中庸な街です。都会でもなく田舎でもない街です。いい表現にするよりラックス出来る街、ほど良い街と言えたいと思います。これをおしゃれな表現としてロゼシティを提案します。バラ街道にもリンクします。ロゼは白でもなく赤でもなくピンクです。またバラ色というイメージがあります。間接的にバラの街を彷彿させます。	バラを八千代市の花として指定していることから、バラに係るまちづくりに取り組んでいるところです。名称については、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	

◆八千代市第5次基本構想(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
129	全体	少子化・高齢化に対応する、八千代版のコンパクトシティについて検討する必要があるかと思いますがいかがでしょうか。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 まちの基盤については、「快適で環境にやさしいまちづくり」で施策の大綱「市街地・住環境の整備」に位置付け、基本計画及び個別計画により取組を推進いたします。 また、総合計画策定後に個別計画である都市マスタープランの改訂が予定されていることから、担当部局と寄せられた意見を共有し、土地利用の基本方針の中で掲げる快適性と自然が調和するまちづくりを目指すとともに、将来のまちのあり方について検討してまいります。	
130	全体	この基本構想には、市長への想いはどこにあるのでしょうか。この基本構想を見て、ワクワクするような八千代市ビジョンが浮かびませんがいかがでしょうか。	基本構想は大まかな方向性を示すものであり、具体的な取組については基本計画の施策体系の中で整理し、住民ニーズや時代の変化、課題に柔軟性を持って取り組んでまいります。 なお、計画期間中に本市の人口が減少に転じることが見込まれており、少子化対策の課題として「子育て」が重要であることから、市長の公約でも掲げている「子ども・子育て」を基本構想の施策の大綱として新たに位置付けをいたしました。	
131	全体	「持続可能な行政経営の確立」とあります。まさにSDGsを正面から立ち向かう姿勢を示していると思います。「SDGs未来都市」とか「拡充から縮充」「公共施設の総量からサービスの質へ」「ゼロカーボンシティ」といったキーワードを用いながらより具体的な施策を書き加えてください。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。 また、本年7月に地方創生SDGs官民連携プラットフォームに加入し、推進方法の調査研究を進めるとともに、SDGs未来都市における取り組み事例も参考にしながら、SDGsの達成に向けた推進が図れるよう検討してまいります。 併せて、基本計画における施策で、SDGsとの関連付けを行います。	
132	全体	八千代市の特徴として地域ごとに人口動態データに差がありすぎます。この違いを可視化するために客観的データに基づく詳細な分析が必要と感じております。(コーホート分析) その一例として5歳階級別人口推移のデータ分析を提案させていただきます。提示させていただいたグラフは八千代市全体ですが、地域ごと、丁目ごとに分析しますと一段と異なるまちの姿が浮かんできます。このグラフから世代間の課題、地域間の課題が抽出できますので基本構想に反映してください。	基本構想はまちづくりの大きな方向性を示すものであり、具体的な取組については基本計画の施策体系の中で整理し、住民ニーズや時代の変化、課題に柔軟性を持って取り組んでまいります。 また、地域で居住している方の年齢構成割合や各地域の抱える課題の分析、歴史や文化などの地域資源と特性を踏まえ、基本計画の中で地域づくりの方針等を位置付けてまいります。	
133	全体	1.第5次総合計画において人口減少、殊に勤労年齢人口の減少、年少人口も減少するが、これにつき危機感がない。 2.勤労年齢人口の減少＝税収減であることから、勤労年齢人口を増やす施策が必要である。 3.積極的に勤労年齢人口を増加させるために、「住みたいまち八千代」構想を提案する。	第5次基本構想の計画期間中に本市の人口が減少に転じることが見込まれていることから、人口減少や超高齢化の影響を踏まえた展望を描き、持続可能な発展を目指した長期的な視点に立ち、総合的かつ計画的にまちづくりを進める指針として第5次総合計画を策定しているところです。 また、少子化対策の課題として「子育て」が重要であることから、基本構想の施策の大綱として「子ども・子育て」を新たに位置付けをいたしました。	
134	全体	人口推計 人口減少社会を迎え、維持ではなく発展的な考え方をもって取り組んで初めて維持ができるものとする。	出生率の向上が人口増加に反映されるには一定の期間を要することから、子育て環境の整備を継続的に取り組んでいくとともに、本市の魅力を積極的に発信することで他市町村からの移住の促進や定住人口の確保に取り組んでまいります。	
135	全体	人口が減少＝税収が減ることとなり、例えば ・水道料金の値上げや ・ごみ回数の削減などが生じ、それを嫌う住民は他市へ転居する。 人口減少⇒さらに税収減となり、負の循環 これを防ぐには税収維持が必要であり、そのため勤労年齢住民の維持ではなく発展的な考え方をもって取り組んで初めて維持ができるものとする。		
136	全体	第5次総合計画は新型コロナウイルス感染症の影響(新しい生活様式)などを考慮していない。 【影響】リモートワークや在宅ワーク等の広がり ↓ 東京の通勤圏に住む必要がなくなると東京のベッドタウンである八千代市に住もうとする住民が減少すると思われる。	新型コロナウイルス感染症への対応については、今後のワクチンや治療薬の開発、感染の拡大状況など、取組が大きく変わってしまう可能性があることから、基本構想では具体的な内容を記載しておりませんが、基本計画では新型コロナウイルスへの対応のほか、新たな感染症対策などへの対応についても位置付けを検討していきます。 「構想推進のために」で、次の記載を追加します。「また、令和2(2020)年に、世界中に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は市民生活や企業活動に大きな影響を及ぼし、新たな生活様式が提示されるなど、これまでとは異なる社会の価値観に立った取り組みが必要とされています。このため、既存の考え方にとらわれず、感染症対策を始めとした様々な状況の変化に対応したまちづくりを進めていきます。」	○

◆八千代市第5次基本構想(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
137	全体	<p>法律に基づく重要計画 法律に基づく計画として地方創生総合戦略、国土強靱化地域計画などがあります。総合戦略は総合計画の中に組み込むと宣言がありますが国土強靱化地域計画はどのような位置づけにするのでしょうか。</p> <p>内閣では (1)総合計画よりも上位 (2)総合計画と並列の最上位計画 (3)総合計画に組み込み の3通りを提示しています。すでに昨年の補正予算で事業化されており、繰越明許費が計上されています。にもかかわらず何ら市民に経過報告がありません。予算の付き方からして国土強靱化地域計画の方が優先順位が高いように感じられます。昨年12月1日に内閣に対して令和3年3月までに作成すると他市に先駆けて宣言しております。</p>	<p>国土強靱化地域計画は、国土強靱化における市の様々な分野計画・取り組みの指針としての性格を有することから、上位計画となる第5次総合計画と国土強靱化に資する内容についての整合を図り、他の個別計画等に対しては、国土強靱化関連分野における指針として、横断的・網羅的に取組を整理するための計画として国土強靱化地域計画を位置付けます。</p>	
138	全体	<p>基本構想の構成案(1)</p> <p>① 目的 ・八千代市のまちづくりのミッションとビジョンを定めるもの</p> <p>② まちづくりの基本的視点 ・活力とチャレンジ ・新たな価値の創造 ・まちの魅力を磨き、発信</p> <p>③ まちづくりの基本的理念(行政としてのミッション) ・市民憲章に則る</p> <p>④ 将来ビジョン(将来都市像) ・子どもたちの笑顔が見える ・若者や女性が輝く ・高齢者になっても活躍できる ・すべての人が自分らしく暮らす創造都市の実現 ・以上を端的に表す言葉</p> <p>⑤ 将来都市像実現のための要素 ・人材の育成 ・地域コミュニティの拡充 ・地域経済の活性化</p> <p>⑥ 基本計画に続く</p>	<p>基本構想素案の構成につきましては、変更する予定はございません。</p>	
139	全体	<p>基本構想の構成案(2)</p> <p>① 将来都市像 ・まちづくりの基本的考え方 ・将来都市像 ・基本目標(分野別検討)</p> <p>1)健康福祉 2)教育文化 3)安心安全 4)環境調和 5)産業活力</p> <p>*ユニバーサルデザイン:快適生活(心のバリアフリーとまちづくり分野) *新未来チャレンジ(ポストコロナ)</p> <p>② 計画の基本的なフレーム ・将来人口推計 ・都市構造・土地利用の方向 ・財政の見通し</p> <p>③ 施策の大綱 ・基本目標における具体的な取組内容</p> <p>④ 構想の実現に向けて</p>		

◆八千代市第5次基本構想(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
140	全体	<p>将来都市像策定の考え方</p> <p>① 事務局によるたたき台 ・分野別検討会、市民アンケート、ワークショップ等 ・事務局で複数の将来都市像を複数パターン作成</p> <p>② 総合計画審議会における将来都市像の検討 ・将来都市像について審議 ・修正の方向性・修正案を検討</p> <p>③ 総合計画審議会における決定 ・具体的なキャッチフレーズやキーワードの例示 現在は①のレベルでかつワンパターンだけの提示</p>	基本構想素案の構成につきましては、変更する予定はございません。	
141	全体	<p>課題の概観</p> <p>※現在の構成を追認したわけではありません。(別表1)</p>	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
142	全体	<p>修正案一覧表</p> <p>※全面的な見直しが必要です。もし項目の中で採用された場合の修正事項です。(別表2)</p>		
143	全体	<p>網羅的にはスローガン、お題目は良いでしょう。どこの自治体に持っていても使える、逆に言えば八千代市の特色が見られない内容です。具体的に何を、何のために、いつまでに実施するのか、実行計画まで素早く落として、そこから議論されることを期待します。現在の服部市長の任期中にぜひ具体的な形を見せてほしいです。</p>	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
144	全体	<p>誇りを持って活躍する、故郷に愛着をもてるようにと言う点は賛成です。しかし、グローバルを歌っていますが、グローバルとはグローバリストが日本を支配するために広めたプロパガンダです。先ず、日本人としての誇りを取り戻す。人としての柱あってこそ、世界から国際人として認められます。日本人とは何者か？その柱無くしては世界から認め信頼されません。国際化はあり得ません。移民、外国人労働者を増やすことには断固反対です。差別はしませんし尊重はしますが、働かず日本から生保を貰うために来る外国人は祖国に帰すべきです。甘えた外国人本人の為にもなりません。甘えた人生は良い人生ではありません。現実をしっかり見据えて計画をするべきです。</p>		
145	全体	<p>八千代市の良さが基本構想に出ていません。専門家の手が入っているのかもしれませんが、そのため八千代市に実際に住んでいる人がわかる八千代市の良さが出ているように感じます。分析は十分に行われていますか。八千代市に住む方の意見が反映されている本当の八千代市版の基本構想を考えていただけませんか。</p>	基本構想はまちづくりの大まかな方向性を示すものであり、具体的な取組については基本計画の施策体系の中で整理し、住民ニーズや時代の変化、課題に柔軟性を持って取り組んでまいります。	

◆八千代市第5次基本構想(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
146	全体	<p>人口減少・超高齢社会、コロナ危機、気候危機の現実に向向うのか、SDGsや脱炭素社会の実現に向けて、どのような都市像を目指し、何を柱に取り組むのか、明確なビジョンの策定を</p> <p>日本では既に「人口減少・少子超高齢化」がはじまっています。2008年の1億2808万人をピークに人口が減少しており、社会の転換点に突入しつつあります。</p> <p>本市では人口ピークは本年3月の推計では2025年と確実に人口減少局面が近づきつつあり、5次基本構想期間の途中で減少フェーズに入ることが見込まれています。だからこそ、この問題に最大限向き合う、これまでの基本構想から転換するビジョンを掲げることが必要です。</p> <p>また今、世界は「コロナ危機」と「気候危機」の只中にあります。新型コロナウイルス感染症による感染者は世界で今なお増え続けています。そして同時に、多発する気象災害も世界各地で猛威をふるいその被害は大変深刻です。いずれも人々の暮らしや命を脅かし、そして経済や社会にも大きな影響を与えています。</p> <p>しかし、そんな中でも世界では「持続可能な社会」を目指し、ウィズ&ポストコロナとしてテレワークやリモート会議、オンライン教育など新しいライフスタイルへの転換に向かい、脱炭素社会へ再生可能エネルギーを軸とした社会経済活動への変革に動き出しています。今年はコロナ禍によって世界全体のCO2排出量は8%減と見込まれていますが、これだけ世界が活動を自粛しても8%しか減らない現実。活動自粛や省エネの取り組みだけではとても足りないことが明らかとなり、CO2を排出しない自然エネルギーへの転換・拡大が急務となっています。</p>	<p>いただいたご意見は、基本構想の記載内容として参考とさせていただきます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応については、「構想推進のために」で次の記載を追加します。「また、令和2(2020)年に、世界中に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は市民生活や企業活動に大きな影響を及ぼし、新たな生活様式が提示されるなど、これまでは異なる社会の価値観に立った取り組みが必要とされています。このため、既存の考え方にとらわれず、感染症対策を始めとした様々な状況の変化に対応したまちづくりを進めていきます。」</p> <p>気候危機については、「第4節 快適で環境にやさしいまちづくり」の「環境との共生・保全」で、地球環境に係る「気候危機」の記載を追加します。</p>	○
147	全体	<p>そして、こういった世界規模の課題に対して、2015年国連にて17の世界の共通目標「SDGs」が掲げられ、2030年に向けてこの目標を実現すべく全世界のあらゆる主体が動き出しています。これら「地球規模の持続可能性」に向けた取組みは、今やあらゆる主体に求められる社会経済活動のメインテーマになりつつあります。日本も千葉も八千代も例外なく社会の要請となりつつあります。取組みがその自治体の持続可能性に繋がります。脱炭素や自然エネルギー社会へ向けた施策は省エネルギー・再生可能エネルギーの推進はもとより、調達電力のRE100電気やCO2ゼロ電気への切替えや、電力切替をさらに促進する「自治体新電力」設立など、既に地方から先進自治体を中心に具体的な取組みが行われつつあります。</p> <p>これらの取組みは気候危機への対策のみならず、地産地消のエネルギー循環を生み出すことによる地域経済循環を作り出し、人口減少・少子超高齢化が進む未来に向けての地域活性化、まちづくりの切り札に間違いなく繋がります。人口減少・超高齢社会、コロナ危機、気候危機の現実にはきちんと向き合い、SDGsや脱炭素社会の実現を目指して、街としてのビジョンを描き、自治体として出来ることに最大限取り組む。これまで「からこれから」へ間違いなく転換が必要で、これら課題はあまりに大きなものですが、これらに向き合い「1歩ずつ「未来に向けた取組み」を進めることで、私たちの街・八千代の「明るい未来」は拓けると確信しています。</p> <p>以上のことより、第5次基本構想には「八千代の未来ビジョン」として、人口減少・超高齢社会、コロナ危機、気候危機の現実に向向うのか、SDGsや脱炭素社会の実現、未来へ続く八千代に向けて、どのような都市像を目指し、何を柱に取り組むのか、明確なビジョンとしてキーワードとしてでも明記することを提案します。</p>		
148	全体	<p>これまでも、目標やスローガンはよいのですが、実態がなかなか追いつかないというか、頑張っておられる職員さんもたくさんいるのですが、市民や子どもたちが頑張ろうとしていることを応援してもらえないと感じる事がたびたびありました。目標やスローガンの真の意味を末端まで行き渡らせるのは難しいかもしれませんが、頑張ってください。</p>	<p>将来都市像の実現に向けて、全市を挙げて取り組んでまいります。</p>	
149	全体	<p>市民が共に支えあう</p> <p>市民が主体という文章もありますが、例えばすてっぷ21の利用で、市境の友達親子と遊びに来たら市外の人は断られたり、ご近所の子どもを預かって遊びに行く、保護者でないと利用できないと言われたり、小学校就学前の春休みに行く幼児でないからだめと言われたり…もう少し優しくなってほしいです。</p>	<p>いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>	
150	全体	<p>「グルット号」の件</p> <p>勝田台北二丁目「市役所」「中央図書館」に行くための交通機関がなく、以前は「グルット号」「自転車」等を利用していましたが、今日どちらも利用出来ず、困っております。</p>		
151	全体	<p>私は、八千代台に居を構えて四十五年になります。当時はスーパーマーケットや商店が沢山あり、緑が豊富できれいな街並で、とても住みやすく感じられました。ところが、西口商店街はシャッター通り、公園は手入れが行き届かず悲しくなる様な現状で八千代台駅周辺は取り残されている昨今です。</p> <p>大分前になりますが”八千代市を緑とバラでいっぱいにする”構想がありましたが、いつの間にか立ち消えになってしまいました。</p> <p>駅は町の入り口です。きれいになってほしいです！</p> <p>”ゆりの木”がきれいに植えられた中央駅付近のように八千代台駅もきれいになってほしいです。どうぞよろしく願いいたします。</p>		
152	全体	<p>用語、言い回し</p> <p>全体的に硬いかわりにくいです。市民に判るように、もっと平易な言葉でかつ章立ての前後関係がわかるような言葉を使ってほしい。</p>	<p>八千代市第5次総合計画策定基本方針の策定における基本的な考え方でも掲げているように、市民にわかりやすく伝わりやすくなるような柔らかな表現を心掛けておりますが、基本計画等においては、よりわかりやすい計画となるよう表現方法の工夫・改善等を図ってまいります。</p>	
153	その他	<p>「人口動向が令和9(2027)年をピーク」を訂正すべし</p> <p>総合計画策定基本方針発表直後に人口ピークが2年早まり令和7(2025)年になると公表されました。総合計画を検討する上で最も重要な前提条件の変更ですので少なくとも基本方針の修正は必須と考えますがいかがでしょうか。後日、市民が誤解を招かないように配慮すべきと思います。</p>	<p>八千代市第5次総合計画策定基本方針が示された令和元年12月時点では、本市の人口ピークの見込みが令和9年3月でしたが、令和2年3月に改訂された人口ビジョンの人口推計では、令和7年3月に前倒しとなりました。総合計画の策定にあたり、最新の推計値(令和7年がピーク)を注記として加える等の記載方法について検討します。</p>	

◆八千代市第5次基本構想(素案)に寄せられたご意見と市の考え方

No.	区分	ご意見の概要	ご意見に関する市の考え方	修正
154	その他	総合計画審議会 総合計画審議会が開催されたのは7月31日(金)でした。翌日8月1日(土)に広報にてパブリックコメントのアナウンスがありました。議事録が公開されたのは9月2日でした。 市民に建設的な意見を求めるには時間に十分な余裕が必要です。 審議委員の意見書が8月20日期限で求められています。本来であれば意見書を踏まえてパブリックコメントを実施すべきと思います。	いただいたご意見は、今後の総合計画を策定していく上での参考とさせていただきます。総合計画審議会やパブリックコメントを含む全体のスケジュール等の調整に努めます。 なお、八千代市パブリックコメント手続実施要綱では、この手続は「市の基本的な計画等の意思決定の前に市の案を公表し、その案に対する意見とその意見に対する市の考え方を公表することにより、市の政策形成過程における透明性の向上を図り、市民の行政への参加の促進」を趣旨としており、積極的な情報の公開、市民参加の促進、説明責任を果たすため、同要綱で規定する「案の公表を開始した日からおおむね30日以上期間」として8月3日から9月3日までの期間を設定いたしました。	
155	その他	まち・ひと・しごと創生懇談会との合同協議 総合戦略は総合計画と一体として策定とあります。従って合同協議が必要となりますがどのようになっているのでしょうか。	八千代市第5次総合計画策定基本方針の「策定における基本的な考え方」の中で、総合戦略と一体的な計画として策定する旨を掲げております。次期総合戦略の策定に当たっては、総合戦略の趣旨や位置付け、取組内容を整理していく中で、八千代市まち・ひと・しごと創生懇談会を開催し、意見を聴取してまいりたいと考えております。 なお、現時点では総合計画審議会との合同での開催は予定しておりませんが、必要に応じて検討してまいります。	
156	その他	緑が丘区域に中学校を設立して欲しいです。今ある中学校は遠く、安心して通わせられません。	いただいたご意見は、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
157	その他	八千代市第5次基本構想(素案)(以下、第5次(素案)と云う)は、第4次総合計画～を踏襲した内容であると想定するが、何の基本構想か分からないため表紙のタイトルは八千代市第5次総合計画基本構想(素案)として頂きたい。	八千代市基本構想を議会の議決すべき事件として定める条例(平成31年条例第2号)第1条において「市の総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想」を「八千代市基本構想」として規定していることから、名称は現行どおりとさせていただきます。	
158	その他	八千代台駅から大和田駅の間コンビニが欲しいです。理由と致しましては、ご近所が高齢の方が多く、足腰が悪い方もおり、駅までの買い物大変だとおっしゃっていました。	いただいたご意見は、生活しやすいまちづくりに向けた様々な施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
159	その他	基本構想の中で、市民と行政との交流について記載されておりますが、八千代市の基本構想への意見募集のページを見ても市民と本当に交流を持ちたいのか疑問に思います。	いただいたご意見は、今後の総合計画を策定する上での参考とさせていただきます。策定手法等について研究してまいります。 「構想推進のために」の第1節「市民にわかりやすいまちづくりの推進」の中で行政の説明責任を果たしていくこと、政策形成過程への参加機会を充実させていく旨を記載しており、今後の策定過程で必要な情報をお示しながら計画策定に取り組んでまいります。	
160	その他	資料としてPDFを貼るだけではなく、習志野市や他市のようにHP上に市民にわかりやすい形で基本構想の位置づけを明確に示してください。情報提供・情報共有において、基本構想案の意見を募集する段階にまで達していないように感じます。		
161	その他	パブリックコメントの告知と公表資料 8月1日付け広報にてパブリックコメント(以下パブコメと省略)の告知がありました。しかし、資料について何ら説明がありませんでした。最低でも「将来都市像」について目につくところに掲載し意見を求める必要があったと思います。		
162	その他	パブコメに必要な資料が散在しており、建設的な意見を集約するためには余計な負担をかけております。市民とのつながりを持ちたいと思っっているとは到底思えません。改善を希望します。		
163	その他	パブコメを募集するのは良いが、聞きっぱなしというポーズだけではなく、少しでも市民の意見を受け入れて実現に向けた行動を起こさない限り、市民に諦められてしまうのでは。	パブリックコメントに寄せられた意見を参考として基本構想素案の見直しや基本計画を検討してまいります。	
164	その他	基本計画(素案)のパブリックコメントの時期 11月にパブリックコメントを実施すると説明されておりました。その後8月31日にHP上に掲載された「八千代市第5次総合計画について」では令和2年度のスケジュールに令和2年度下半期に基本計画(素案)パブリックコメントとあります。前後の文脈から1月～2月と読めます。誤解のないよう実施時期を改めてご提示ください。	基本計画のパブリックコメントにつきましては、12月中の実施を予定しております。	

【別表1】

課題の概観

※現在の構成を追認したわけではありません。

課題	現状	対応してほしい方向性
将来都市像	告知したのみ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のコンセンサスをとりましょう ・みんなでビジョンを考えるという姿勢が必要です。 ・他の検討案を提示してください、決定に至った過程も提示してください ・「将来都市像」は都市マスタープランや国土強靱化地域計画の共通した目標となるはずで、十分に時間をかけて検討すべきと思います。 ・人口ビジョン・都市空間・財政は前提条件として共有が必要です。
実現に向けた5つの柱	現状の問題点が十分に抽出されていません。 そのため課題解決の鍵が発見出来ていません	難しいけど何とかしたいことを徹底的に洗い出します 柱を2つ追加 10.修正案一覧表にて
施策の大綱	解決の鍵を形式的に列挙	主要な計画との構成を明確にする必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略 ・都市マスタープラン ・国土強靱化地域計画 ・公共施設等個別施設計画 ・地域福祉計画 など
構想推進のために	ざっくりとした事業計画の羅列	基本計画につなぐ事業体系が網羅されていません。

【別表2】

修正案一覧表

※全面的な見直しが必要です。もし項目の中で採用された場合の修正事項です。

章・節	項目	現状	修正案
前段	基本構想の前に		総合計画の位置づけ 総合計画の期間 基本理念
1章	将来都市像	人がつながり 未来につなぐ 緑豊かな 笑顔あふれるまち やちよ	未来の笑顔が描ける ロゼシティ やちよ
1章	計画期間	※で掲載	削除して前段で掲載
2章	基本理念	掲載場所 基本的な理念を、次の通り定めます。	削除して前段で掲載 第4次総合計画を引き継ぎ基本理念とします。
3章	将来都市像の実現に向けた5つの柱	新規挿入	目標を実現するための前提条件が必要 1. 人口ビジョン 2. 都市空間 3. 財政運営 柱を5→7に変更
3-2節	2行目	心の豊かさ	心のバリアフリー(注1)
3-3節		新規挿入	地域のレジリエンスを向上させる
3-4節		新規挿入	農村と都市のメリットが調和した形で活かせる社会の構築、いわゆる田園都市国家構想を目指します(注2)
3-5節		新規挿入	リモートワーク等働き方改革に努める
3-6節 新規	ユニバーサルデザイン	新規設定(注3)	<ul style="list-style-type: none"> ・心のバリアフリー ・まちづくりのユニバーサルデザイン
3-7節 新規	未来投資戦略(ポスト・コロナを踏まえたまちづくり(注4))	新規設定	デジタル・トランスフォーメーション(DX)を通じて社会全体の未来技術の実装 I) 地域経済・生活の再興 II) 新たな日常に対応した地域経済の構築
4章	別掲		

5章	構想の推進のために	新規挿入	重点プロジェクトとして各種主要な計画との関係を明示する 想定される主要な計画 ・公共施設等個別計画 ・地方創生総合戦略 ・国土強靱化地域計画 ・マスタープラン ・地域福祉計画 等 この章は将来都市像を達成するための目標と目標を支える都市経営の基盤整備の観点から構成されるべき
5-1節	6行目	政策形成過程への	政策形成初期段階での
5-2節	4行目	市民活動団体などが主体となった活動を継続的に支援して	市民活動団体から発する地域課題から課題解決案を汲み上げる仕組みを構築します。
5-3節	7行目	積極的で効果的なシティセールスを展開し	「全国移住ナビ」などの外部発信ツールを活用し
5-4節	3行目	行政全体を最適化することで	具体的な記述が必要 1)人的資源 外部登用を含めて職員の経営手腕が発揮できるよう教育体制を確立します。 また、政府が提供しているelearningのResas や地方創生カレッジを活用し職員のみならず市民へ啓蒙することでオール八千代として課題解決に取り組みます。 2)経営資源(見出しのみ) 公共施設の再生計画 財政健全化計画 DX(Society5.0対応と働き方改革など) 協働社会の確立 など
6章	土地利用の基本的な方針	この章を削除し別掲 5行目 6行目 大規模自然災害に備えた	「第3章の将来都市像の実現に向けた5つの柱」 においてこの章の実現のための前提条件の一つとして「都市空間」として掲載 人口減少・少子高齢化が具体的にどのような課題を抱えるのか市民に説明しましょう。 国土強靱化地域計画に則した

用語の詳細を希望します。特に4章の記載が漠然としています。
市民に分かりやすく伝えるためには出来るだけ例示した方がよいと思います。

章・節	項目	現状	修正案
4-1-2	地域福祉4行目	地域共生社会の実現を目指します。	「地域共生社会」という専門用語が登場しました。 この骨子は4つの柱 1. 地域課題の解決力の強化 2. 地域丸ごとのつながりの強化 3. 地域を基盤とする包括的支援の強化 4. 専門人材の機能強化・最大活用 です。 注釈をつけるなどより詳しい説明をしませんと市民は全く理解できないと思います。
4-2-1	教育6行目	市内の高等学校・大学との連携を働きかけ、教育を通じたまちづくりを目指します。	サービス・ラーニングを意味しているのでしょうか？より具体的な記述にしませんと市民に内容が伝わりません。
4-4-1	市街地・住環境の整備4行目	市街地の整備と土地利用の効率化、まちの強靱化を図り、計画的な整備を進めます。	「計画的な」をより具体的に示しませんと市民に意味が全く伝わらないと思います。 また、空き家等の管理や公園・緑地の整備・保全に関してもより具体的な記述が必要と思われます。
4-4-2	総合交通・道路環境の整備4行目	多様な公共交通結節点の環境整備	公共交通結節点の具体的な場所の中で特に重要度の高い地点を例示してください。そうすることでどういう所に焦点が当たっているのかイメージがしやすくなります。
4-5	産業が元気なまちづくり	1農業 2商工業 3労働環境 これしかありません	観光がありません。 第4次総合計画では観光が含まれていました。 何故削除したのでしょうか 現在観光によるまちづくりの検討はされていないのでしょうか

注1) ユニバーサルデザイン行動計画2020で共生社会実現に向けた大きな2つの柱のうちの一つ

注2) 近年再評価されている「田園都市国家構想」は故大平正芳元総理の構想、その後デジタルと融合して「デジタル田園都市国家」構想が提言されている

注3) ユニバーサルデザインは4次基本構想において「快適生活都市」に相当する幅広い概念です。住みやすいまちづくりには欠かせない内容で ユニバーサルデザインはハード面とソフト面の双方を考慮することが重要 すなわち「心のバリアフリー」「まちづくりのユニバーサルデザイン」です。

注4) ポスト・コロナ時代の対応は令和2年7月17日に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針2020」において地方創生の政策の方向として「感染症への緊急対応」「感染症克服と経済活性化の両立」の視点を取り入れ、社会全体のデジタル・トランスフォーメーション(DX)を推進とあります。